

斐伊川水系中海支川域
河川整備計画

【第1回変更】

付 属 資 料
(アンケート調査結果)

令和6年3月

島 根 県

目 次

ページ

1. アンケート概要	1
2. リーフレット	3
3. アンケート調査票	11
4. アンケート集計結果	15
● 「治水」	18
● 「河川環境」	21
● 「河川利用」	28
● 「防災・減災」	32
● 「その他」	38
5. アンケート結果まとめ	39

河川法に基づく「斐伊川水系中海支川域河川整備計画」の策定にあたり、流域住民の意見を反映させるため、住民アンケートを実施した。

1. アンケート概要

(1) 調査方法

アンケート調査は、紙媒体による調査とWEB調査を併用して実施した。

(2) 調査対象者及び配布・周知方法

①紙媒体による調査

蛇喰川・田頼川・津田平川・吉田川・木戸川流域内の住民 36 地区、約 6,200 世帯を対象

②WEB 調査

島根県土木部河川課ホームページにアンケートフォームを公開

③周知方法

- ・施行区間対象河川の流域内の各世帯へリーフレットとアンケート用紙、返信用封筒を回覧配布（1世帯1部）
- ・島根県河川課ホームページへの掲載
- ・広報やすぎ「どげなかね（2023年11月号）」への掲載
- ・島根県河川課広報誌「しまねの河川と海岸（令和5年10月号）」への掲載
- ・流域内にある島根県立安来高等学校（2年生）と島根県立情報科学高等学校（3年生）にWEBアンケート調査チラシを配布

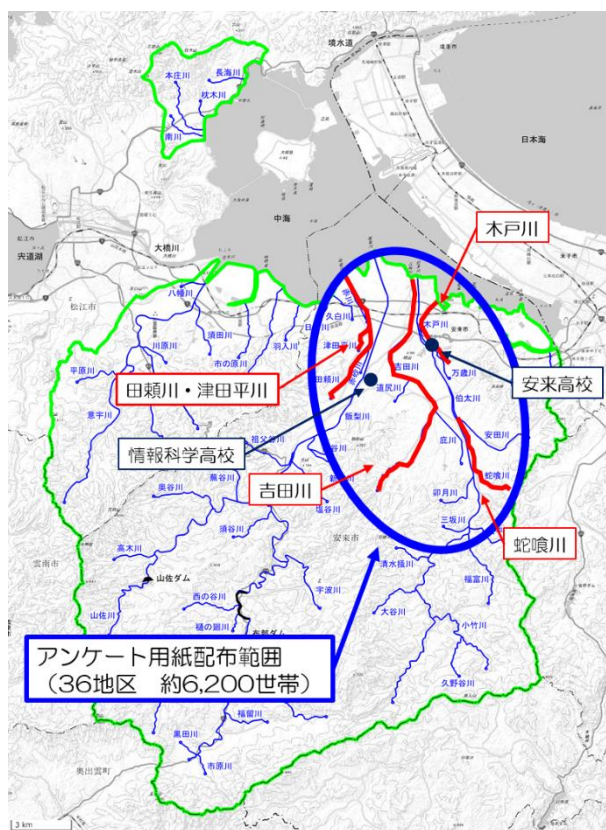


図 1-1 アンケート調査範囲

(3) 調査期間

調査期間は、令和5年10月20日から令和5年11月15日までとした。

(4) 回収率

アンケート回収率は、以下のとおりである。

表 1-1 アンケート回収率等一覧表

調査方法	配布数	回収数	回収率
回覧配布・郵送回収	6,244 枚	1,867 枚	30%
Web アンケート	—	376 人	—

※令和5年11月20日まで郵送で届いたものを対象とした。

2. リーフレット

リーフレットは、以下に示すとおりである。

「斐伊川水系中海支川域」の川づくり に関するアンケートにご協力ください

アンケートの目的

斐伊川水系中海支川域を流れている川についての思いや意見をお伺いし、今後の川づくりの参考とさせていただきますために実施します。

リーフレットの内容

このリーフレットは、現在検討している「斐伊川水系中海支川域河川整備計画（素案）」の内容を大まかにまとめたものです。

斐伊川水系中海支川域 流域図

The map shows the Biwa River system's middle branch basin, outlined in green. A north arrow is in the top left. A scale bar indicates 3km. The map is annotated with several callouts:

- Top right callout:** ~斐伊川水系中海支川域とは~ 飯梨川をはじめ中海に流入する55の県管理河川から構成します。
- Center callout:** 近年の洪水により家屋の浸水被害が発生した地域のなかから、優先的に整備する必要のある5河川について、河川整備を行います。
- Bottom left callout (吉田川):** An aerial view of the Yoshida River section with a yellow arrow pointing to a specific area.
- Bottom right callout (蛇喰川):** An aerial view of the Mutsukawa River section with a yellow arrow pointing to a specific area.
- Right side callout (糸川):** An aerial view of the Ito River section with a yellow arrow pointing to a specific area.
- Top left callout (田瀬川・津田平川):** An aerial view of the Tanase/Tsudaheira section with a yellow arrow pointing to a specific area.

地図出典：国土地理院

1

河川整備計画とは

「河川整備計画」とは、今後 30 年間の川づくりについて、「治水」「利水」「環境」「維持管理」の観点から具体的な目標を定めるものです。

- 治水** 河川の氾濫を防ぐこと
- 利水** 河川の水を農業・工業・上水などに利用すること
- 環境** 河川を中心とした水辺の空間や多様な生物の生息・生育空間の保全と復元を図ること
- 維持管理** 溜まった土砂、立木や老朽化する河川管理施設などに対して、適切に維持管理すること



過去の水害状況について

中海支川域は、下流域の勾配が緩く中海の水位の影響を受けやすいため、過去から多くの氾濫被害を受けています。近年でも、平成 18 年 7 月、平成 23 年 9 月、令和 3 年 7 月など、台風や豪雨による浸水被害が発生しています。

河川整備の内容については p.4~7 をご覧ください。



吉田川 (平成 23 年 9 月)



蛇喰川 (平成 23 年 9 月)



木戸川 (令和 3 年 7 月)



田頼川 (令和 3 年 7 月)

河川環境について

下流部では中海と能義平野の水田地帯が「日本の重要湿地 500」に選定されており、コハクチョウなどの渡り鳥の飛来地となっています。また、上流部では特別天然記念物のオオサンショウウオが生息するなど多様な生態系を形成していますが、一方で、外国由来の植物であるオオフサモなどが確認された河川もあります。

河川整備時の配慮事項については p.4~7 をご覧ください。

コハクチョウ



河川利用について

飯梨川の布部ダム、山佐ダムでは、水道用水、工業用水及び発電用水として利用されるなど、河川の水は様々な用途で利用されています。
飯梨川、伯太川、木戸川では、子供たちが安心して水辺に親しむことができるように護岸整備しています。



布部ダム



飯梨川

(道の駅「飯梨・喜田城」付近)

河川の維持管理について

河川内に溜まった土砂や立木が、洪水時に水の流れを阻害する場合に掘削や伐採を行っています。
また、日ごろから地域のみなさんとも協力して河川の草刈りや清掃を行っています。



雨量や水位情報の提供について

洪水による被害をなるべく少なくするため、「島根県水防情報システム」などにより、リアルタイムに河川の水位や雨量の情報を提供しています。

<https://www.suibou-shimane.jp/pc/>

しまね防災情報



島根県水防情報システム



「しまね防災メール」では、気象注警報、土砂災害警戒情報、河川洪水予報などの緊急のお知らせを、メールで配信しています。
右のQRコードまたはメール（register@bousai-shimane.jp）からご登録ください。



流域の現状と整備内容

吉田川

【工事の目標・内容】

年超過確率[※]1/10の規模の洪水に対して、家屋及び農地の浸水被害を防ぐために改修を行います。（※毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率）



【吉田川の河道の状況】

川の流は緩やかで、瀬や淵、水際植生がみられます。堰や水門から取水が行われます。



ながどうろ大橋 下流



一本松頭首工



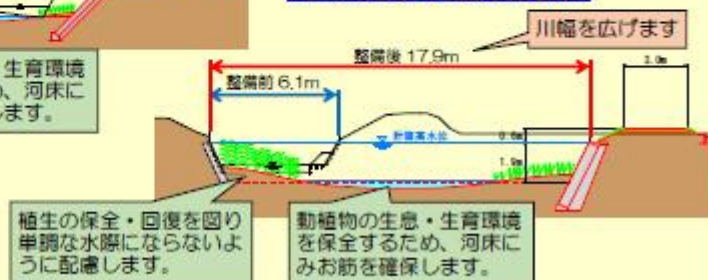
鳥木上橋下流

【河川改修のイメージ】

ながどうろ大橋下流 250m 付近



吉田橋より上流 700m 付近



※河川改修におけるイメージ断面です。実施にあたっては、今後の調査・検討を踏まえ決定します。

【工事の目標・内容】

安来市の中心市街地を流れる木戸川では、年超過確率 1/30 の規模の洪水に対する将来計画を策定していますが、当面は概ね年超過確率 1/2 の規模の洪水に対して、沿川の市街地への浸水被害を防ぐための改修を行います。



【木戸川の河道の状況】

川の流は緩やかで、瀬や淵があり、水草や水際植生もみられます。



JR 橋付近



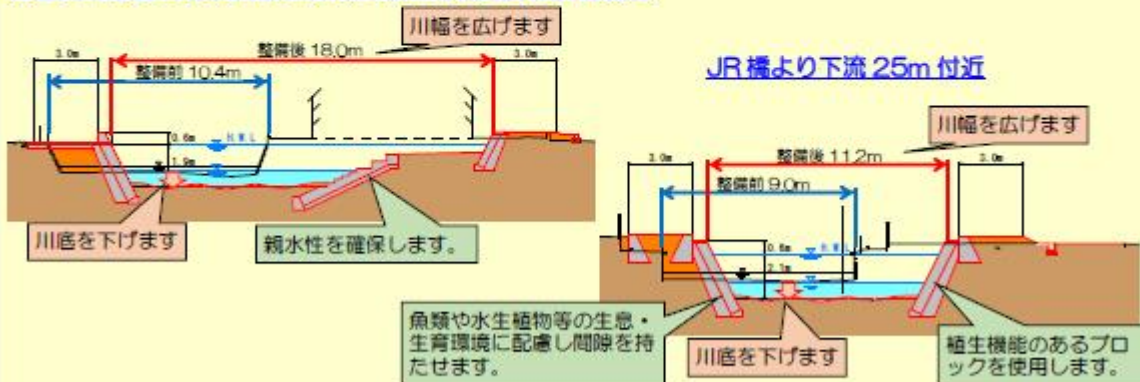
川子橋下流



木戸川橋下流

【河川改修のイメージ】

木戸川「水辺の楽校」区間（木戸橋より下流 110m 付近）



※河川改修におけるイメージ断面です。実施にあたっては、今後の調査・検討を踏まえ決定します。

流域の現状と整備内容

田頼川・津田平川

【工事の目標・内容】

年超過確率 1/10 の規模の洪水に対して、家屋及び農地の浸水被害を防ぐために改修を行います。



【田頼川・津田平川の河道の状況】

川の流れは緩やかで、山付部には河畔林がみられます。堰や水門から取水が行われます。



中津水門付近



西中津水門付近

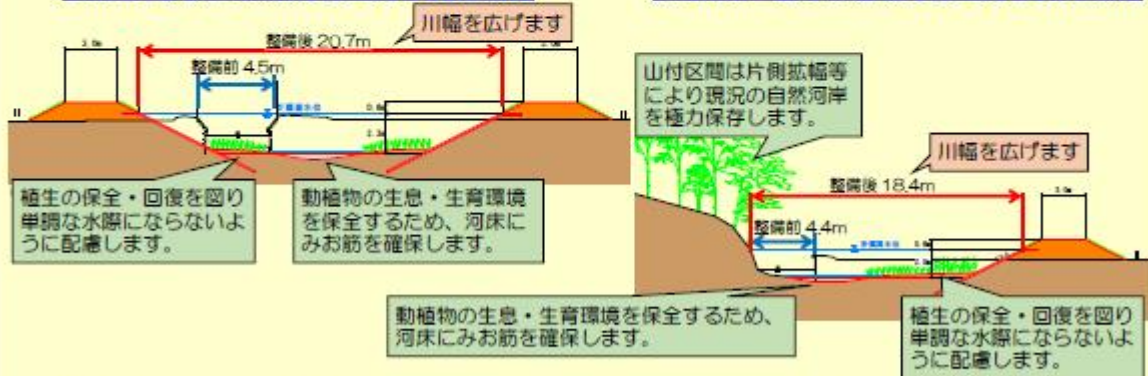


客橋上流（津田平川）

【河川改修のイメージ】

田頼川：赤砂川合流点より上流 100m 付近

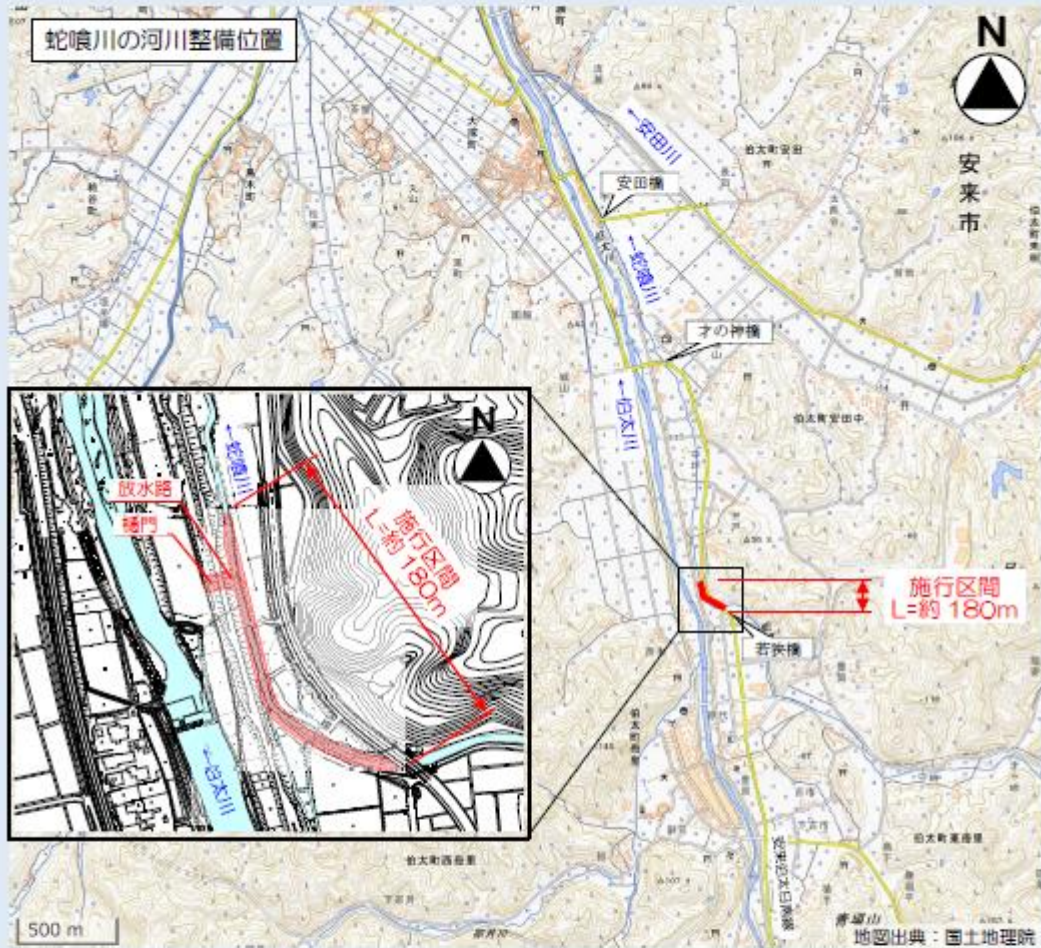
津田平川：客橋(県道橋)より上流 150m 付近



※河川改修におけるイメージ断面です。実施にあたっては、今後の調査・検討を踏まえ決定します。

【工事の目標・内容】

年超過確率 1/10 の規模の洪水に対して、家屋及び農地の浸水被害の軽減を図るため、洪水時に伯太川へ水を流すための放水路・樋門の整備及び放水路上流の改修を行います。



【蛇喰川の河道の状況】

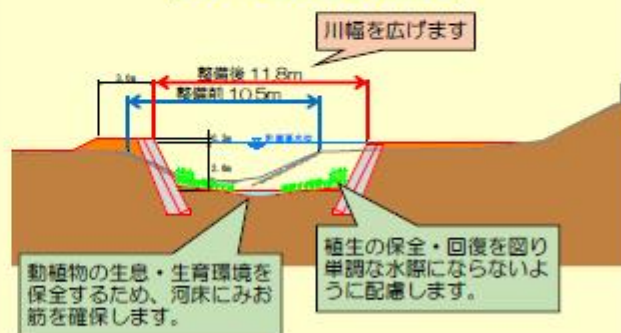
川の流れは緩やかで、瀬や淵があり、水草や水際植生もみられます。



若狭橋下流

【河川改修のイメージ】

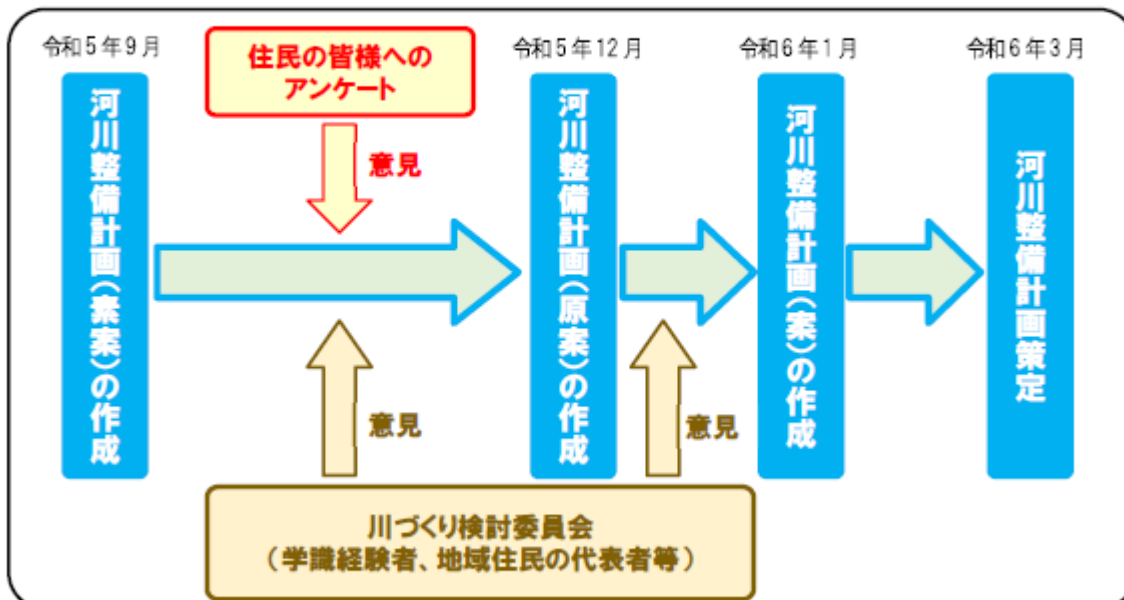
若狭橋より下流 60m 付近



※河川改修におけるイメージ断面です。実施にあたっては、今後の調査・検討を踏まえ決定します。

【河川整備計画策定までの流れ】

河川整備計画は、アンケートに寄せられた地域住民の方々からのご意見、川づくり検討委員会におけるご意見を反映させ、策定していきます。



※アンケートで寄せられた意見のすべてが反映されるわけではありませんので、ご了承ください。

【川づくり検討委員会などの開催状況】

河川整備計画（素案）の詳しい内容や川づくり検討委員会の開催状況を島根県河川課のホームページで公開しています。



【アンケートの回答方法】

アンケートへの回答は、このリーフレットをご覧ください。別紙アンケート用紙またはwebより回答をお願いします。

① 【アンケート用紙により回答される場合】

回答用紙は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、令和5年11月15日（水）までに投函してください。

② 【webにより回答される場合】

右のQRコードを読み取りのうえ、令和5年11月15日（水）までにアンケートにご回答ください。



【問い合わせ先】

島根県 土木部 河川課企画調査係 電話：0852-22-5647
島根県 松江県土整備事務所 広瀬土木事業所
工務課工務第1係 電話：0854-32-4147

Q8

Q6で「③ やや不満」、「④不満」と回答された理由を教えてください
【複数回答可】

- ① ゴミが多い
- ② 水が汚い
- ③ 普段の水の量が少ない
- ④ 生き物が少ない
- ⑤ 外来生物が増えている
- ⑥ 堤防や川の中に草や木が覆い茂っている
- ⑦ その他 ()

Q9

「身近な川」で、あなたが「現在取り組まれていること」について教えてください【複数回答可】

- ① 草刈
- ② ゴミ拾い
- ③ 植樹・花植
- ④ 生物の保全活動
- ⑤ 環境学習・観察会
- ⑥ ハートフルしまねを利用した活動
- ⑦ 何も取り組んでいない
- ⑧ その他 ()

河川利用に関する事項について（選択肢に○してください）

Q10

「身近な川」をどのように利用していますか【複数回答可】

- ① 遊び場（土手・河原・水辺等）
- ② 散歩路（堤防等）
- ③ 休憩の場
- ④ 自然散策の場（堤防・河原等）
- ⑤ イベントの場
- ⑥ 利用していない
- ⑦ その他 ()

Q11

「身近な川」を利用しやすくするために必要だと思われる項目を教えてください【複数回答可】

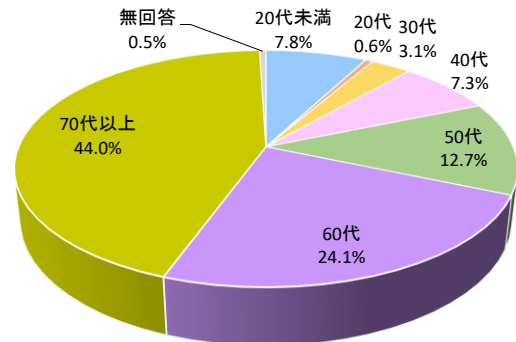
- ① 水辺に近づきやすくする
- ② 堤防を歩きやすくする
- ③ 人が集まりやすい場をつくる
- ④ 休憩場所をつくる
- ⑤ 堤防や河原の草刈や樹木の伐採
- ⑥ その他 ()

4. アンケート集計結果

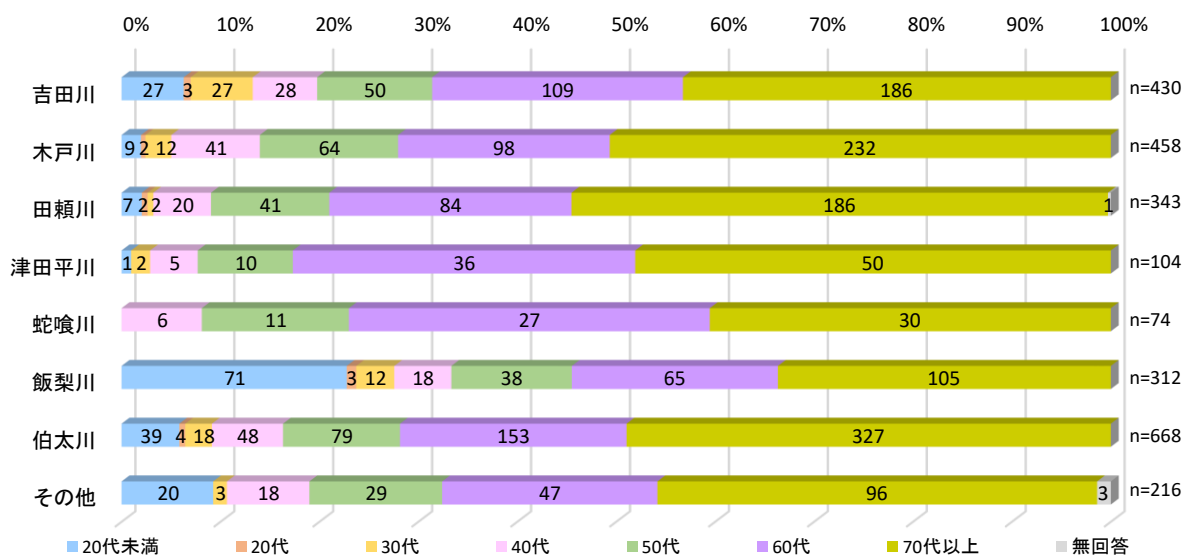
Q1 年齢を教えてください

【Q1 全体】

年齢	回答数(人)
20代未満	174
20代	13
30代	69
40代	164
50代	285
60代	541
70代以上	986
無回答	11
合計	2,243



【Q1 河川別】



※母数は河川別の回答者数

【Q1 回答の傾向】

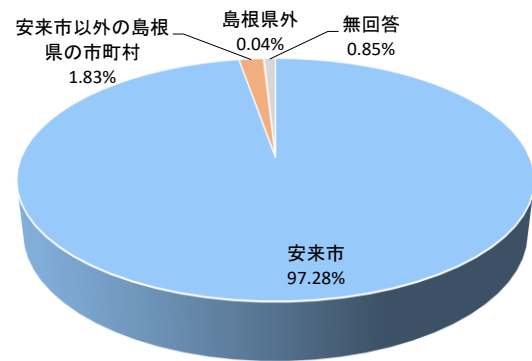
〈全体〉「70代以上」が4割以上を占め、60代・70代以上を合わせると約7割になる。

〈河川別〉飯梨川は他の河川と比較して「20代未満」の割合が高い。

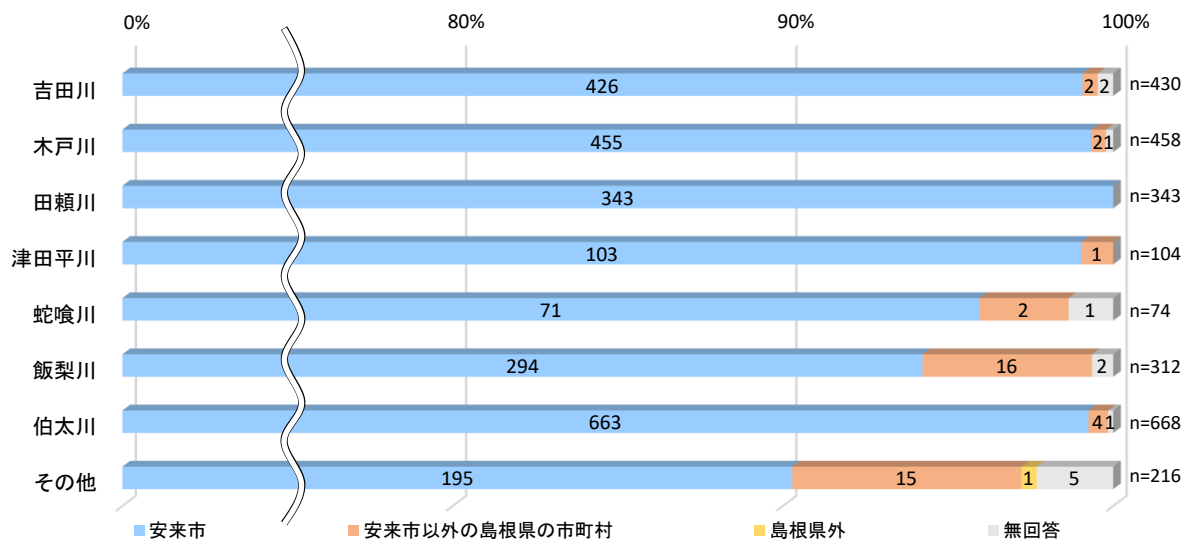
Q2 お住まいの地域を教えてください

【Q2 全体】

選択肢	回答数（人）
安来市	2,182
安来市以外の島根県の市町村	41
島根県外	1
無回答	19
合計	2,243



【Q2 河川別】



※母数は河川別の回答者数

【Q2 回答の傾向】

〈全体〉9割以上が安来市の住民である。

〈河川別〉飯梨川は、他の河川と比較して安来市外に住んでいる人からの回答が多い。

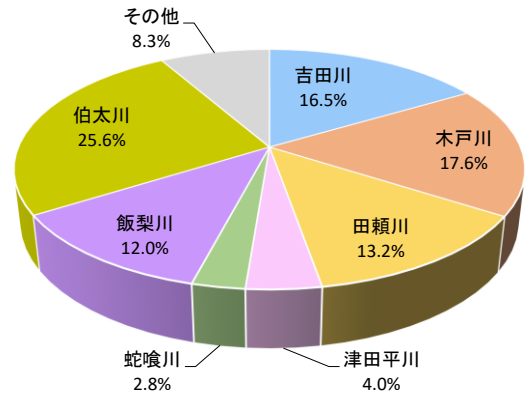
【Q2 安来市外に住む人の「その他身近な河川」内訳】

斐伊川（1人）、平田船川（1人）、意東川（2人）、羽生川（1人）、意宇川（2人）、北田川（1人）、重栖川（1人）、佐陀川（1人）、坂本川（1人）、不明（4人）

Q3 中海支川域で最も「身近な川」を教えてください

【Q3 全体】

選択肢	回答数（人）
吉田川	430
木戸川	458
田頼川	343
津田平川	104
蛇喰川	74
飯梨川	312
伯太川	668
その他	216
合計	2,605

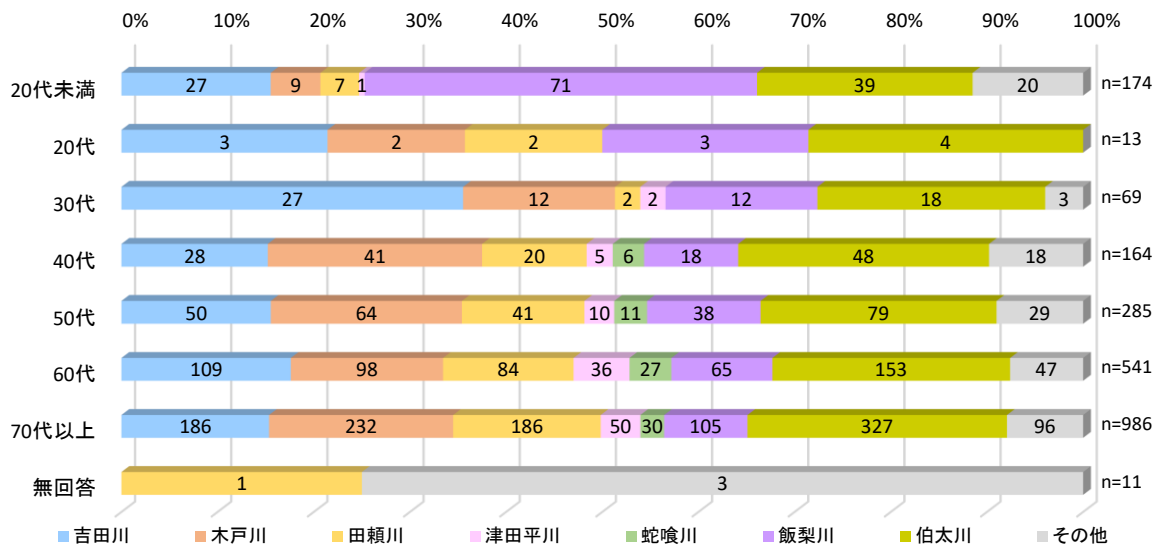


※複数回答有：合計回答数：2,605（一人当たり回答数1.16）

【Q3 その他内訳】

伯太川支流（1人）、卯月川（14人）、万歳川（19人）、安田川（21人）、吉田川流域（2人）、
 庇川（5人）、赤川（2人）、赤砂川（9人）、山佐川（2人）、久白川（97人）、日白川（8人）、
 羽生川（1人）、意東川（2人）、意宇川（2人）、斐伊川（1人）、他管轄外・不明（30人）

【Q3 年齢別】



※母数は年齢別の回答者数

【Q3 回答の傾向】

〈全体〉「伯太川」と回答した人が最も多く、約3割を占める。

〈年齢別〉20代未満は「飯梨川」と回答した割合が最も多く、回答の約4割を占める。

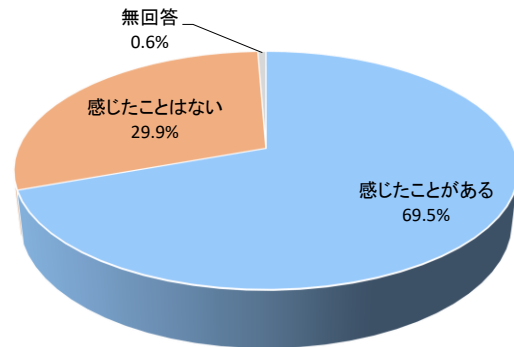
また、30代は「吉田川」と回答した割合が最も多く、回答の約4割を占める。

●「治水」

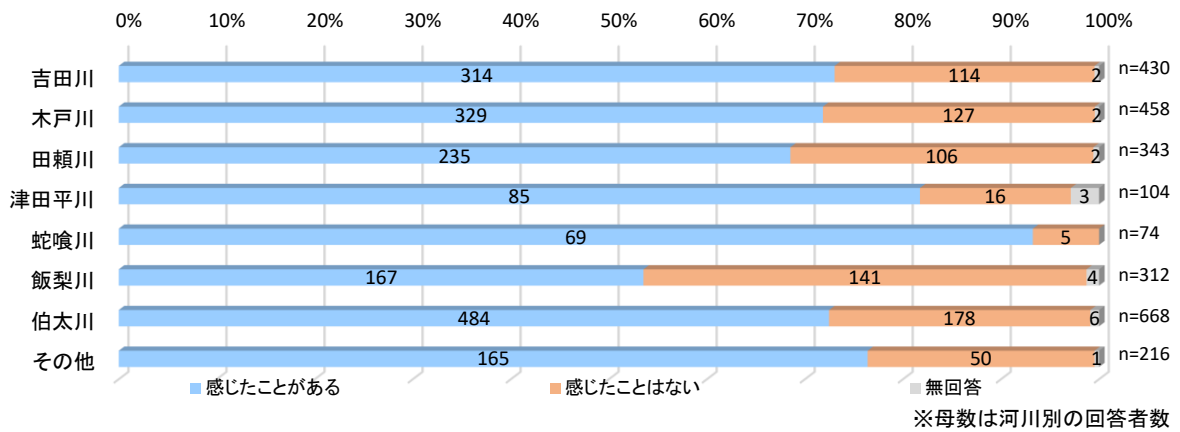
Q4 「身近な川」において、洪水に対して不安を感じたことがありますか

【Q4 全体】

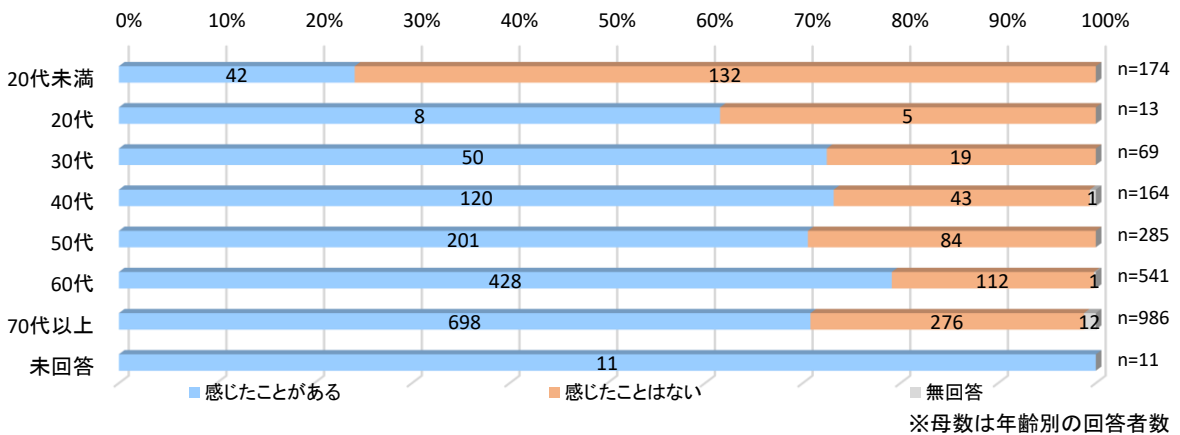
選択肢	回答数（人）
感じたことがある	1,558
感じたことはない	671
無回答	14
合計	2,243



【Q4 河川別】



【Q4 年齢別】



【Q4 回答の傾向】

- 〈全体〉 2/3 以上の方が洪水に対して不安を「感じたことがある」と回答した。
- 〈河川別〉 全河川において不安を「感じたことがある」割合が過半数を占め、特に蛇喰川では9割以上が不安を「感じたことがある」と回答した。
- 〈年齢別〉 20代未満は不安を「感じたことがある」割合が少ない。

Q5 Q4 で「感じたことがある」を選んだ理由を教えてください【複数回答可】

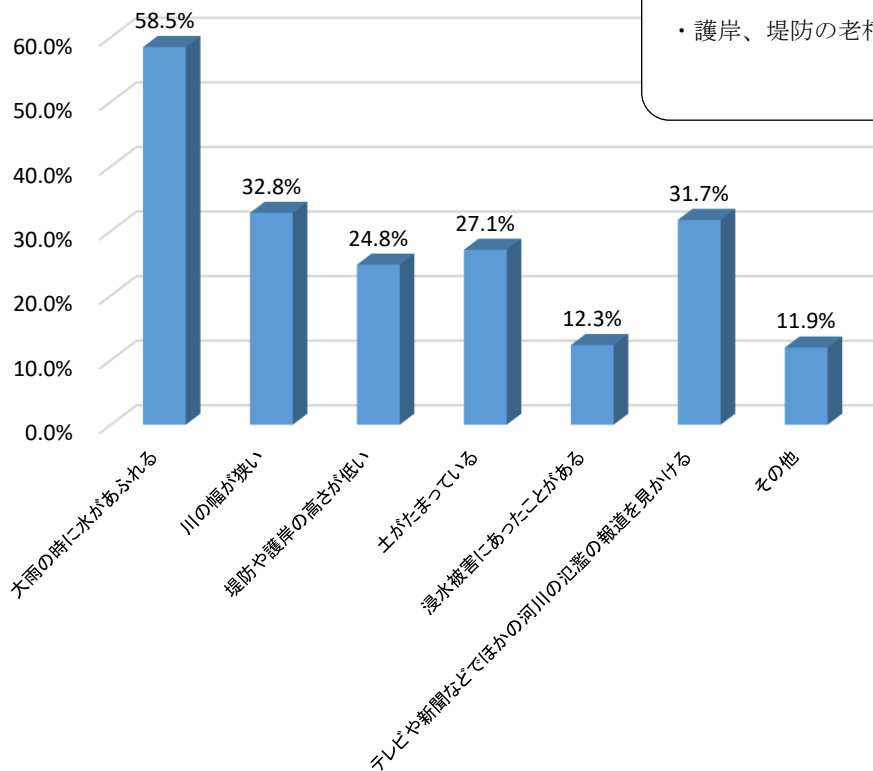
【Q5 全体】

選択肢	回答数（人）
大雨の時に水があふれる	911
川の幅が狭い	511
堤防や護岸の高さが低い	386
土がたまっている	422
浸水被害にあったことがある	192
テレビや新聞などでほかの河川の氾濫の報道を見かける	494
その他	186
母数	1,558

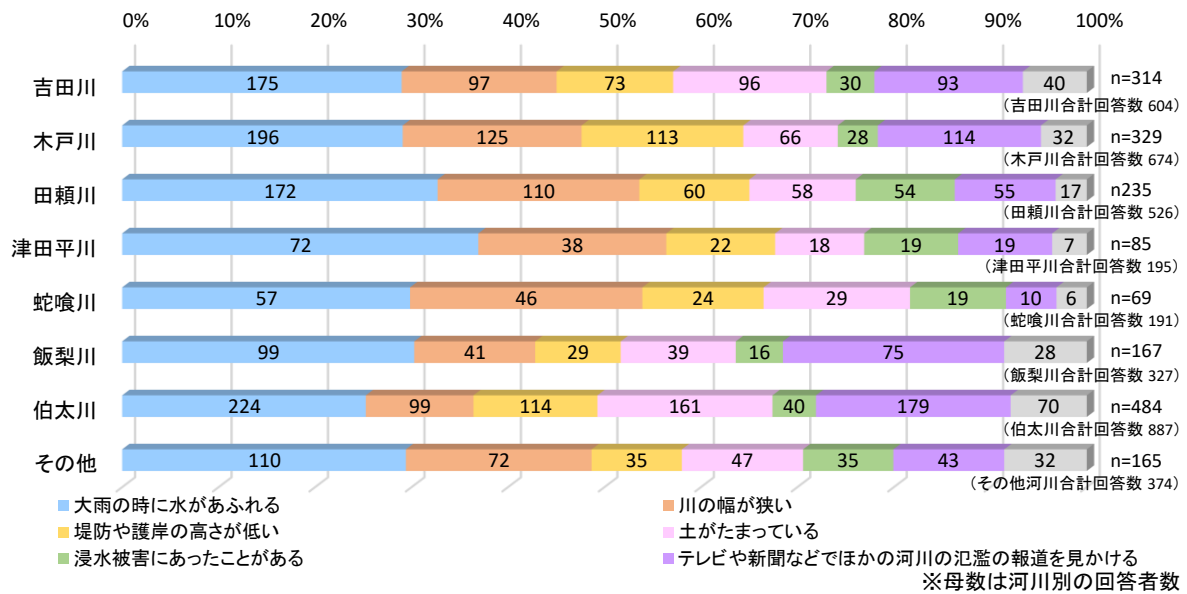
合計回答数：3,102（一人当たり回答数 1.99）

【Q5 その他内訳】

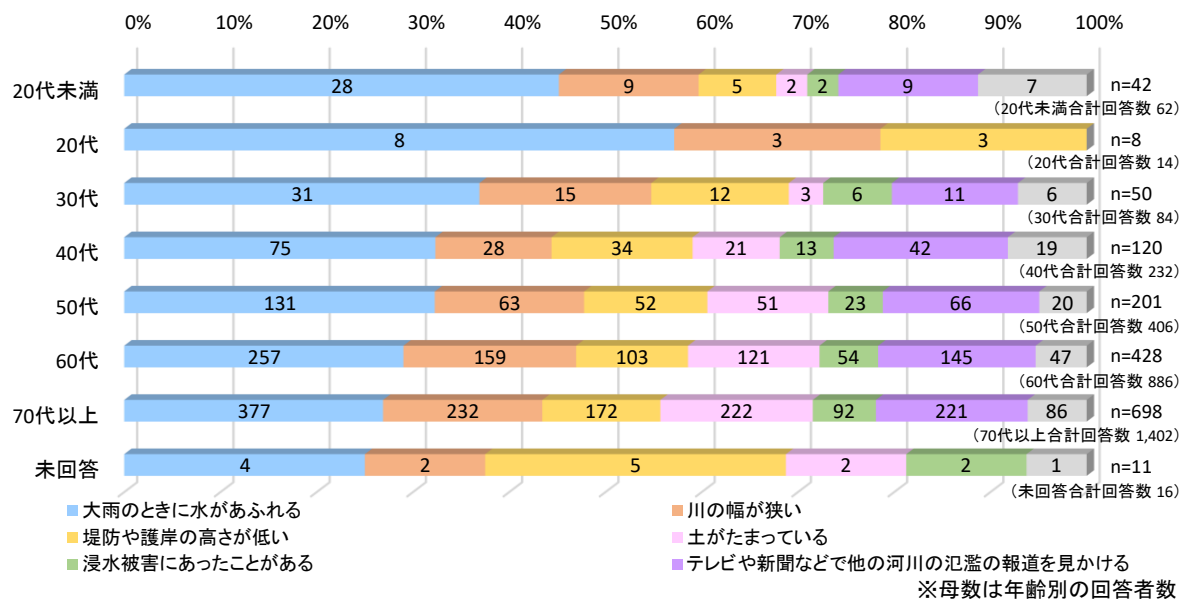
- ・雨量が増えた
- ・橋と川床との間隔が小さく水が流れにくい
- ・川の近くに住んでいる
- ・ハザードマップの被害範囲に自分の家が入っていた
- ・護岸、堤防の老朽化及び崩壊など



【Q5 河川別】



【Q5 年齢別】



【Q5 回答の傾向】

〈全体〉洪水に対する不安を感じた理由として、「大雨の時に水があふれる」と回答した人が過半数を占めた。

〈河川別〉飯梨川は他の河川と比較して、「テレビや新聞などで他の河川の氾濫の報道を見かける」と回答した人が多い。

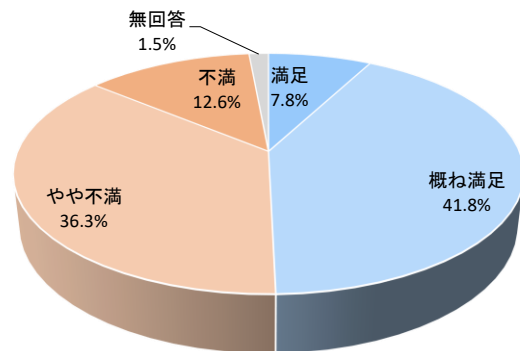
〈年齢別〉年齢が上がるにつれ、1人当たりの回答数が増える傾向がみられた。

● 「河川環境」

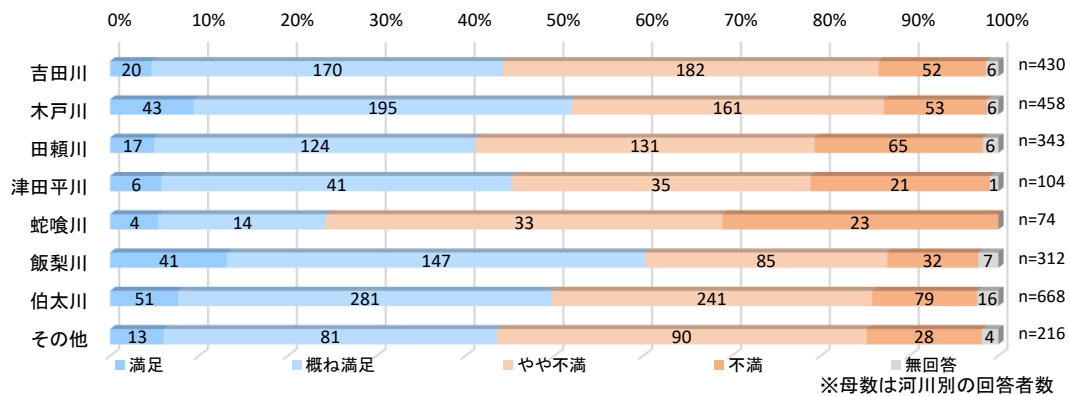
Q6 「身近な川」の環境に満足していますか

【Q6 全体】

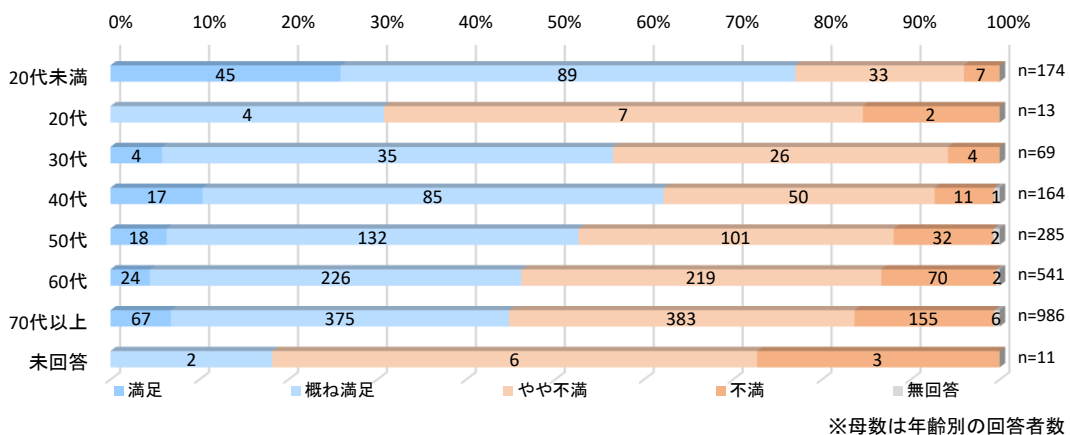
選択肢	回答数（人）
満足	175
概ね満足	938
やや不満	815
不満	282
無回答	33
合計	2,243



【Q6 河川別】



【Q6 年齢別】



【Q6 回答の傾向】

〈全体〉現状の河川に対して「満足」「やや満足」している人と「不満」「やや不満」の人が半々であった。

〈河川別〉蛇喰川は身近な川の環境に不満を持つ人の割合が他河川と比べて高い。

〈年齢別〉20代、60代、70代で身近な川の環境に不満を持つ割合が半分を超える。

20代未満は現状の河川に満足している人が7割以上で、他の年代と比べて高い。

Q7 Q6 で「①満足」、「②概ね満足」と回答された理由を教えてください【複数回答可】

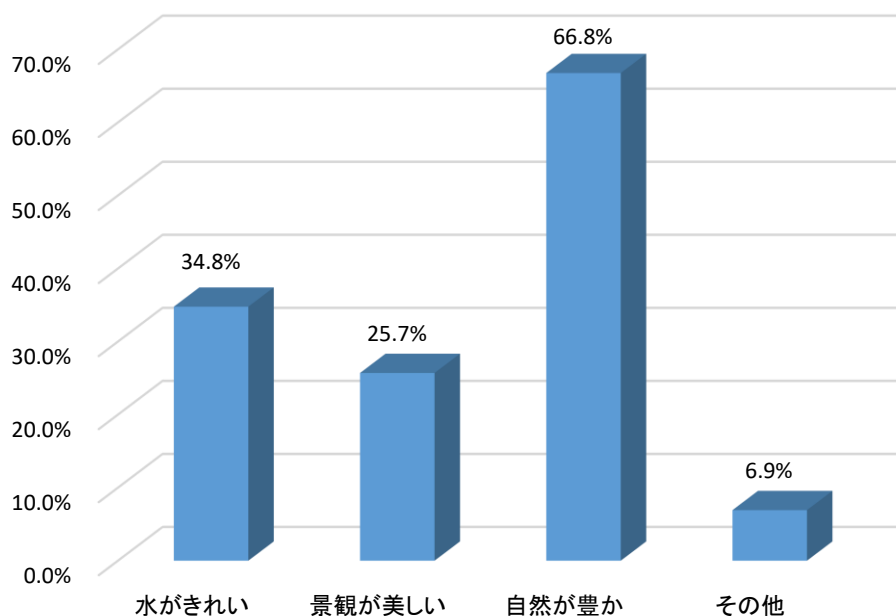
【Q7 全体】

選択肢	回答数（人）
水がきれい	387
景観が美しい	286
自然が豊か	743
その他	77
母数	1,113

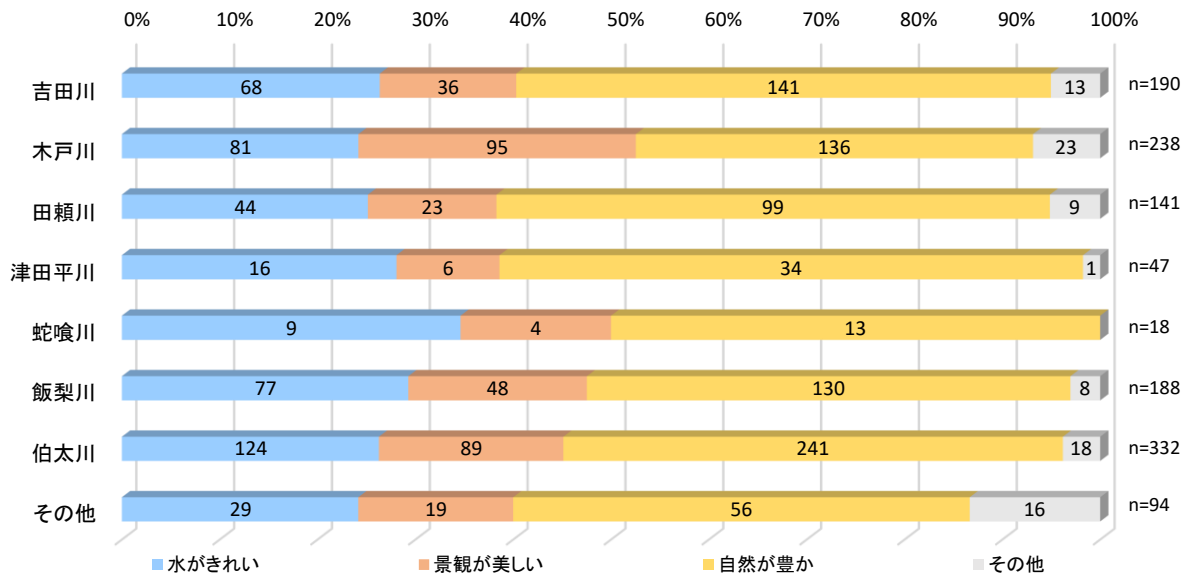
合計回答数：1,493（一人当たり回答数 1.34）

【Q7 その他内訳】

- ・ 治水が良い
- ・ 整備が進んだ
- ・ 草刈りがされている
- ・ 様々な生き物（ホタル、エイ、ウナギ、コイ、タナゴ、ナマズ、カメ、カモ、ハクチョウ、渡り鳥 など）がいる

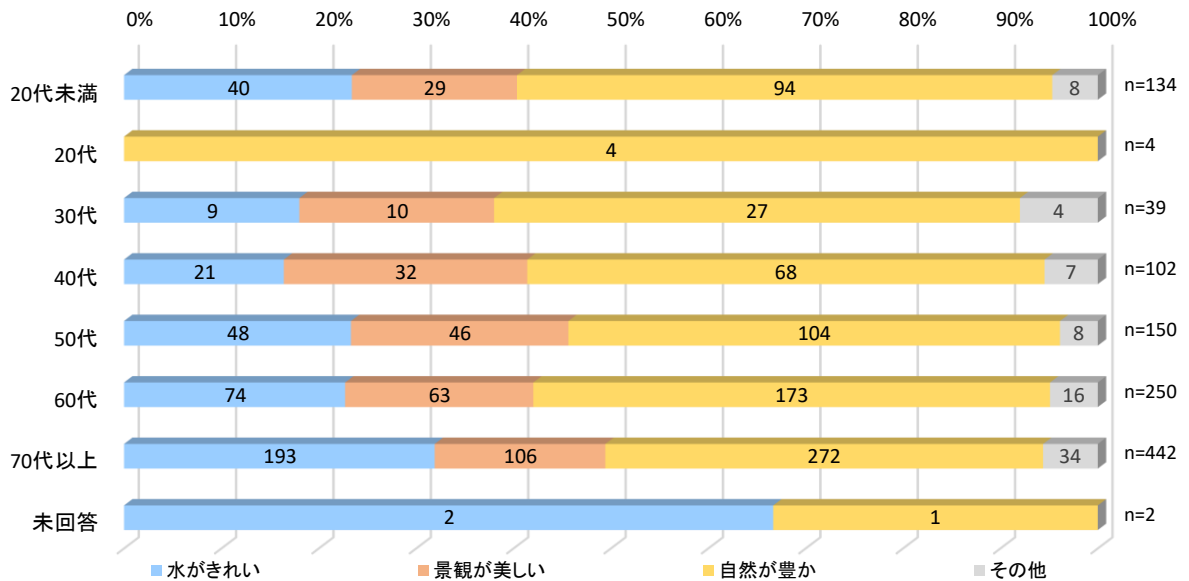


【Q7 河川別】



※母数は河川別の回答者数

【Q7 年齢別】



※母数は年齢別の回答者

【Q7 回答の傾向】

〈全 体〉6 割以上の方が「自然が豊か」と回答した。

〈河川別〉木戸川は他の河川と比較して「景観が美しい」と回答した割合が高い。

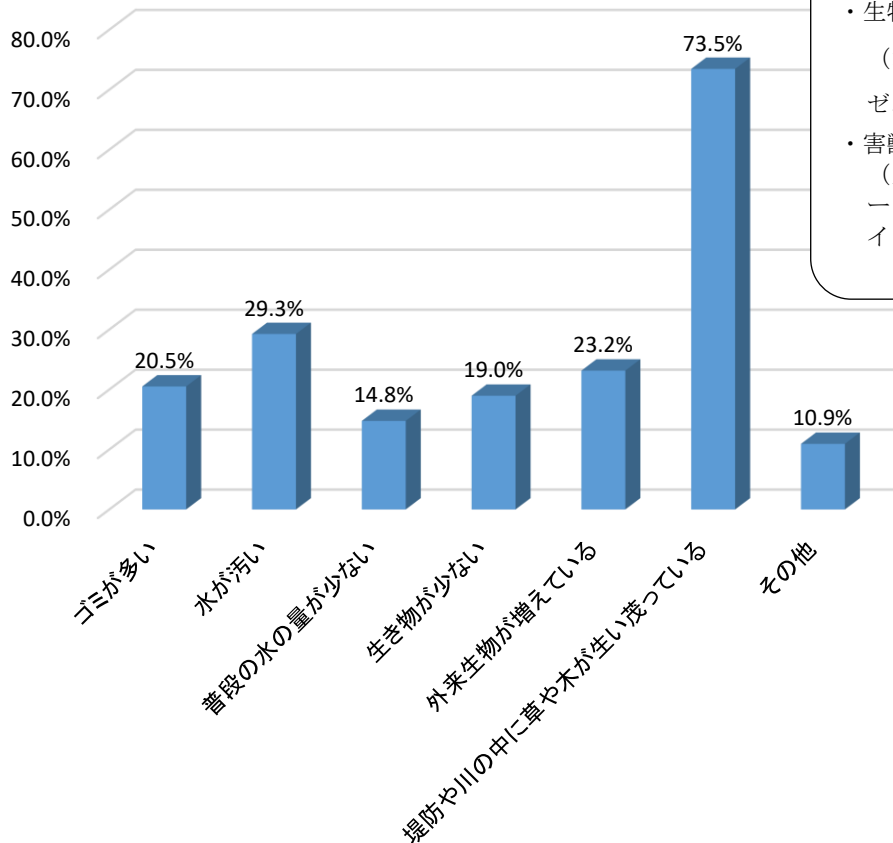
〈年齢別〉70 代以上は他の年代と比較して「水がきれい」と回答した割合が高い。

Q8 Q6 で「やや不満」、「不満」と回答された理由を教えてください【複数回答可】

【Q8 全体】

選択肢	回答数（人）
ゴミが多い	225
水が汚い	321
普段の水の量が少ない	162
生き物が少ない	208
外来生物が増えている	254
堤防や川の中に草や木が生い茂っている	806
その他	120
母数	1,097

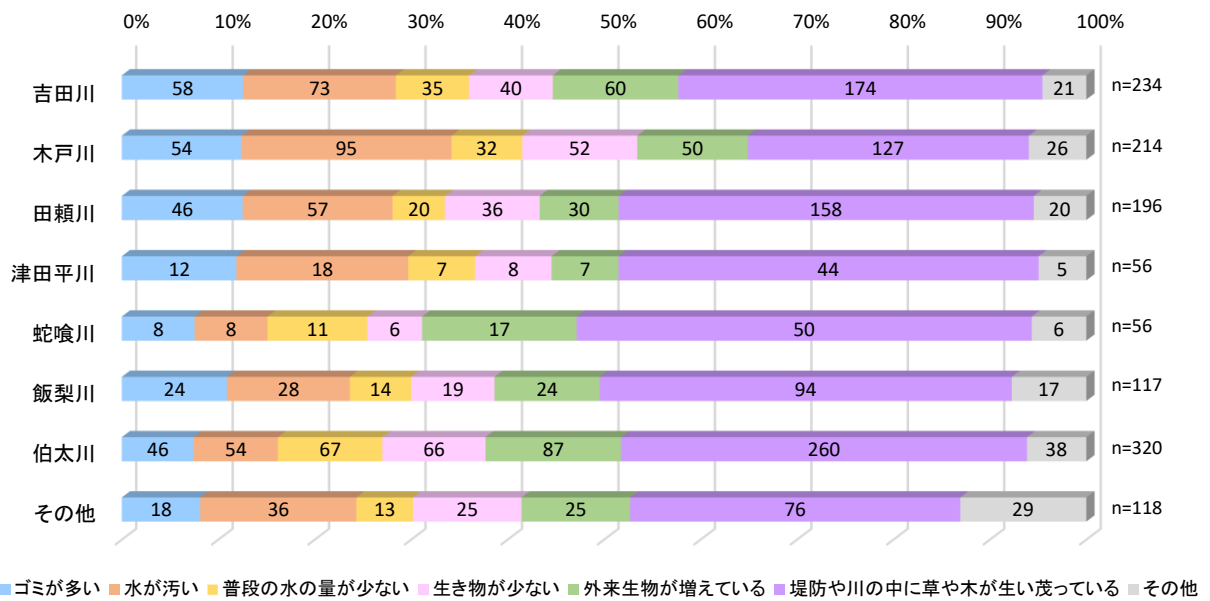
合計回答数：2,096（一人当たり回答数 1.91）



【Q8 その他内訳】

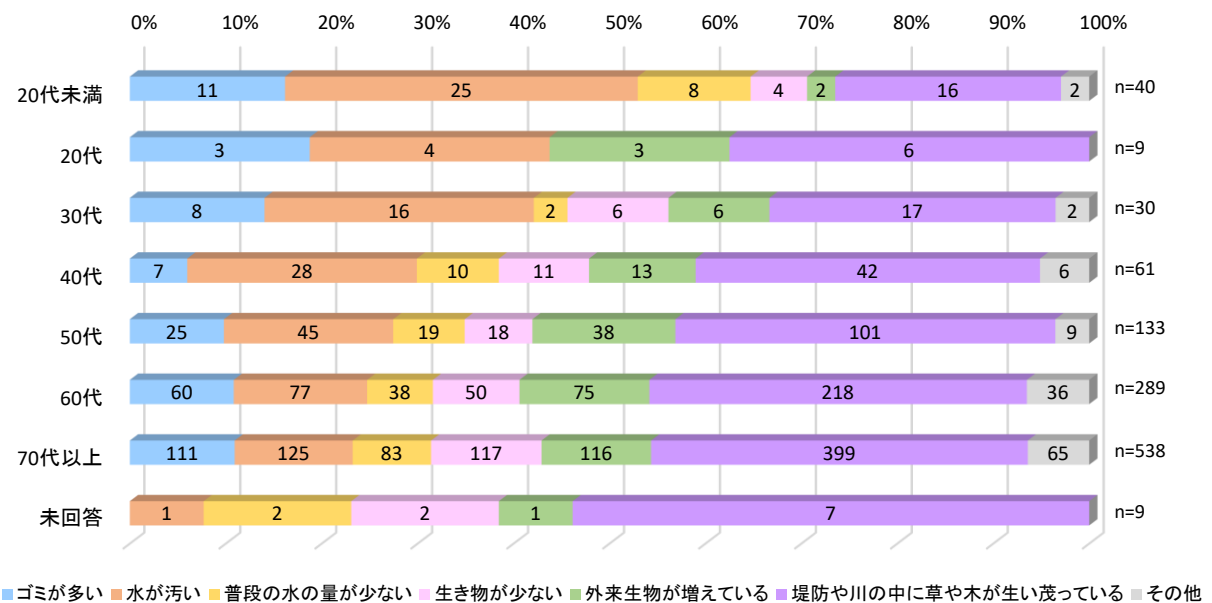
- ・大雨で水があふれる
- ・防災が不十分
- ・壊れた箇所が放置されている
- ・川遊びができない
- ・生物がいなくなった
（ホタル、フナ、コイ、マハゼ、カモ、カワセミ）
- ・害獣の増加
（カワウ、サギ類、キジ、ヌートリア（多数）、イタチ、イノシシ、タヌキ）
など

【Q8 河川別】



※母数は河川別の回答者数

【Q8 年齢別】



※母数は年齢別の回答者数

【Q8 回答の傾向】

- 〈全体〉2/3以上が「堤防や川の中に草や木が生い茂っている」と回答した。
- 〈河川別〉木戸川は他の河川と比較して「水が汚い」と回答した割合が高い。
- 〈年齢別〉20代未満は「水が汚い」と回答した割合が高い。

Q9 「身近な川」で、あなたが「現在取り組まれていること」について教えてください
【複数回答可】

【Q9 全体】

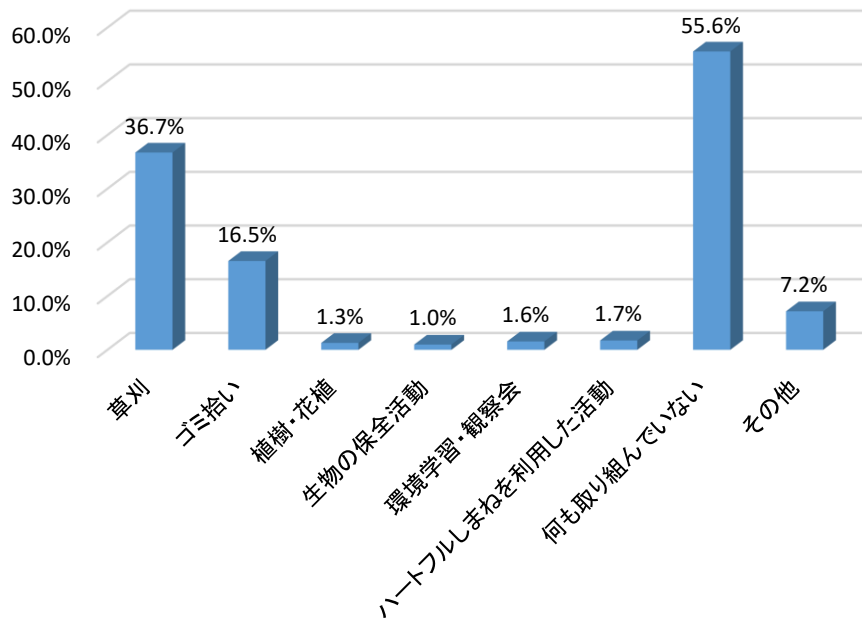
選択肢	回答数（人）
草刈	824
ゴミ拾い	371
植樹・花植	29
生物の保全活動	22
環境学習・観察会	35
ハートフルしまねを利用した活動	39
何も取り組んでいない	1,246
その他	161
母数	2,243

【Q9 その他内訳】

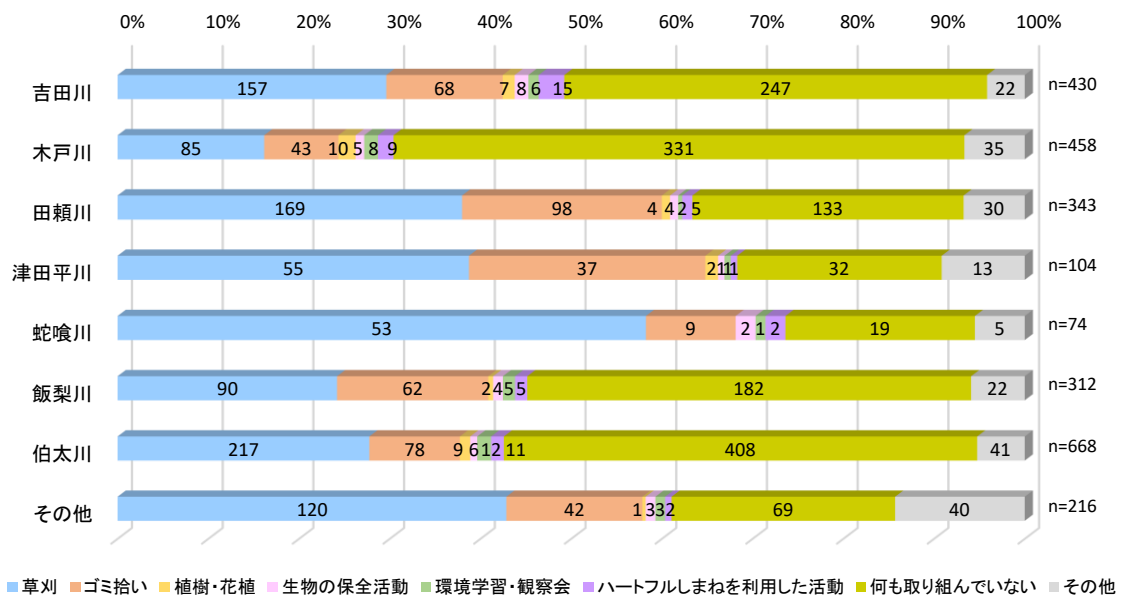
- ・藻類、土嚢、土砂の撤去
- ・護岸、堤防の補修
- ・川にゴミを捨てない
- ・見守る
- ・バス釣り
- ・自治体、町内会等の環境整備活動に参加

など

合計回答数：2,727（一人当たり回答数1.22）

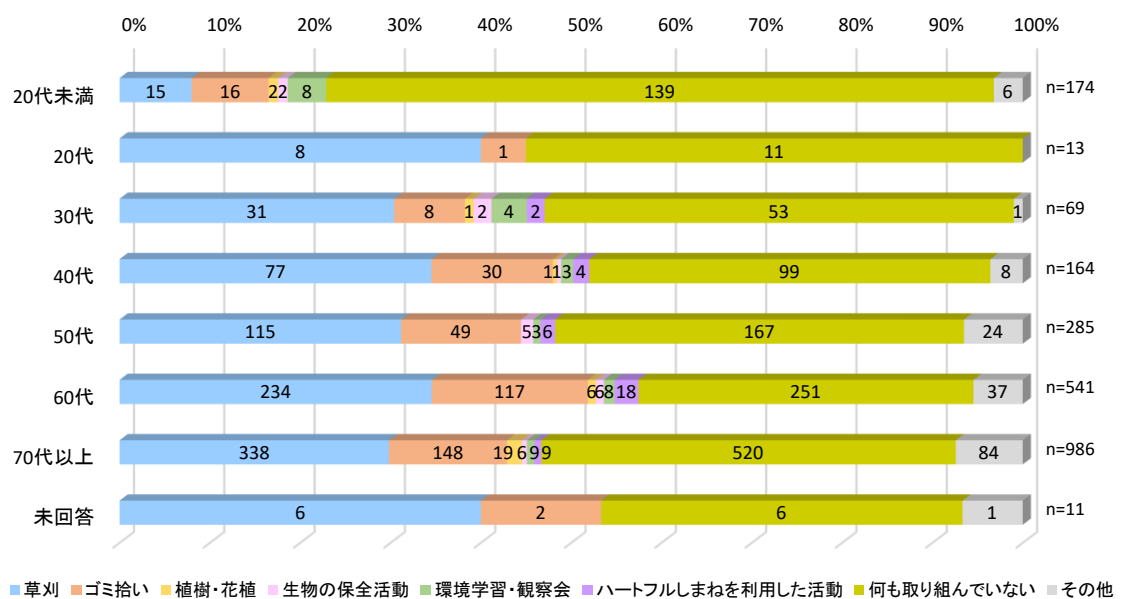


【Q9 河川別】



※母数は河川別の回答者数

【Q9 年齢別】



※母数は年齢別の回答者数

【Q9 回答の傾向】

〈全体〉「何も取り組んでいない」と回答する割合が過半数を占める。

取り組まれていることで最も多いのは「草刈り」であった。

〈河川別〉田頼川、津田平川、蛇喰川では過半数の人が何かしらの取り組みを行っており、「草刈り」と回答した割合も他河川より高い。

〈年齢別〉20代未満で「何も取り組んでいない」という回答が7割以上を占めた。

● 「河川利用」

Q10 「身近な川」をどのように利用していますか【複数回答可】

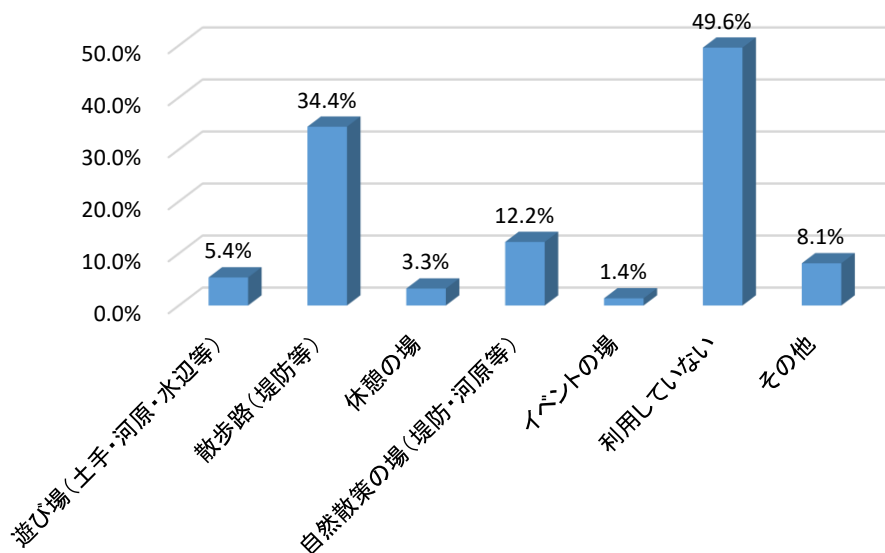
【Q10 全体】

選択肢	回答数（人）
遊び場（土手・河原・水辺等）	121
散歩路（堤防等）	771
休憩の場	73
自然散策の場（堤防・河原等）	274
イベントの場	31
利用していない	1,112
その他	182
母数	2,243

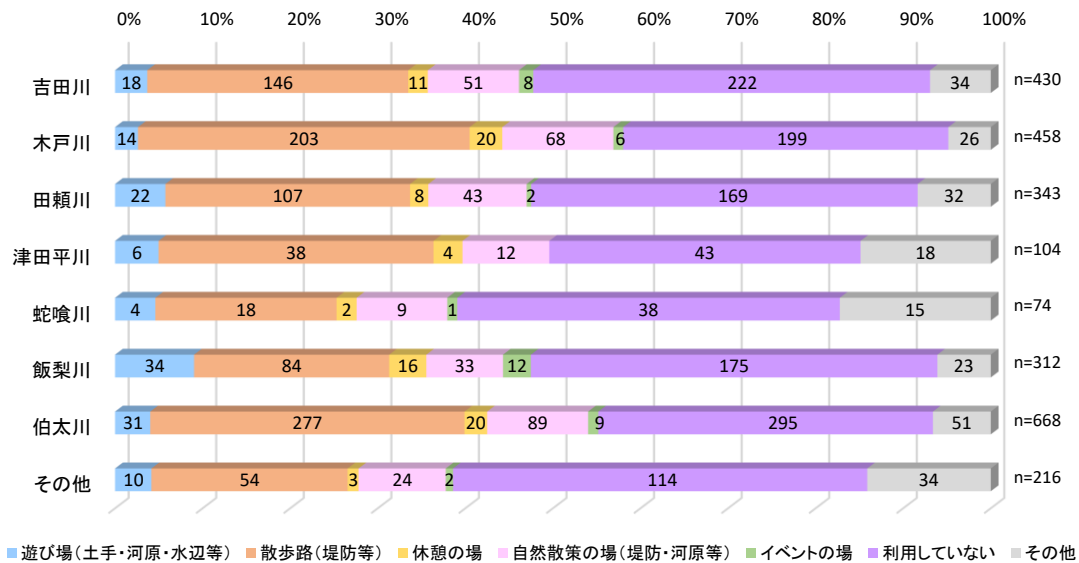
合計回答数：2,564（一人当たり回答数 1.14）

【Q10 その他内訳】

- ・ 農業用水《多数》
- ・ 草を収穫して家畜の餌に使用
- ・ 養殖
- ・ 水棲生物採集
- ・ 校外学習
- ・ 防火用水
- ・ 洗い物 など

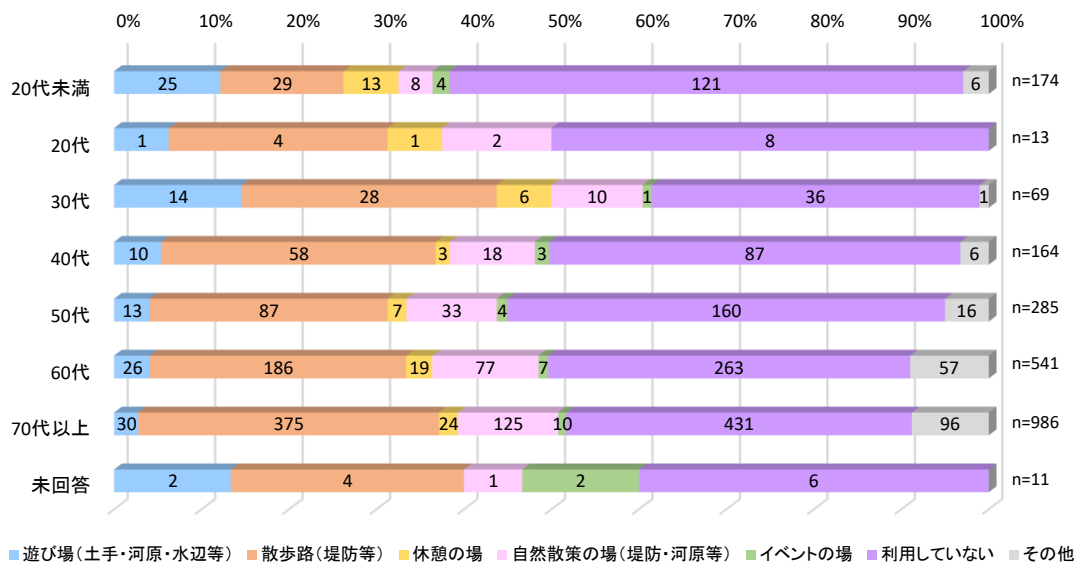


【Q10 河川別】



※母数は河川別の回答者数

【Q10 年齢別】



※母数は年齢別の回答者数

【Q10 回答の傾向】

〈全体〉約半数が「利用していない」と回答した。

利用する場合、全河川で「散歩路（堤防等）」としての利用が最も多い。

〈河川別〉木戸川、伯太川は他の河川と比較して「散歩路（堤防等）」として利用している人の割合が高い。

〈年齢別〉20代未満、30代は「遊び場（土手・河原・水辺等）」として利用している割合が他の年代と比べて高い。

Q11 「身近な川」を利用しやすくするために必要だと思われる項目を教えてください
【複数回答可】

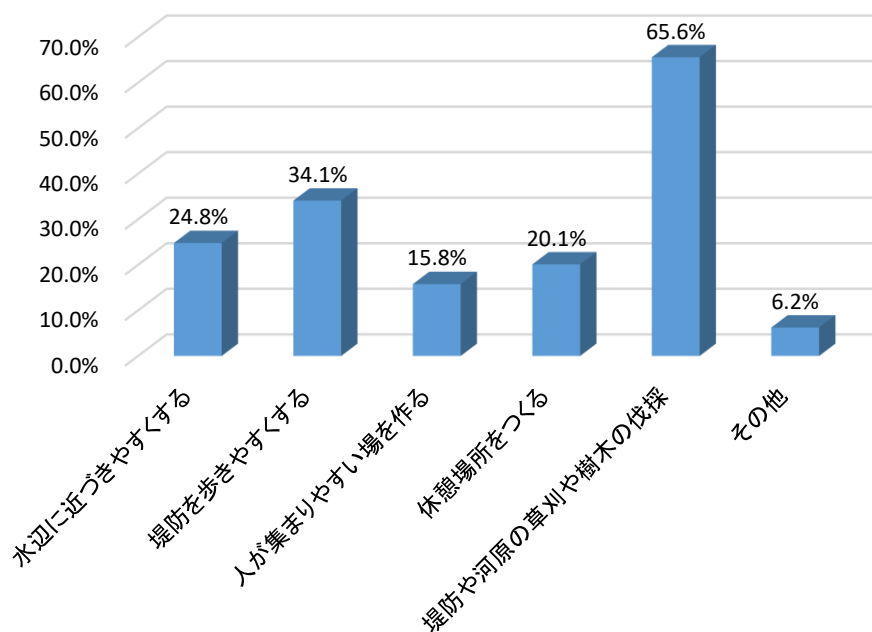
【Q11 全体】

選択肢	回答数（人）
水辺に近づきやすくする	556
堤防を歩きやすくする	765
人が集まりやすい場を作る	354
休憩場所をつくる	451
堤防や河原の草刈や樹木の伐採	1,471
その他	140
母数	2,243

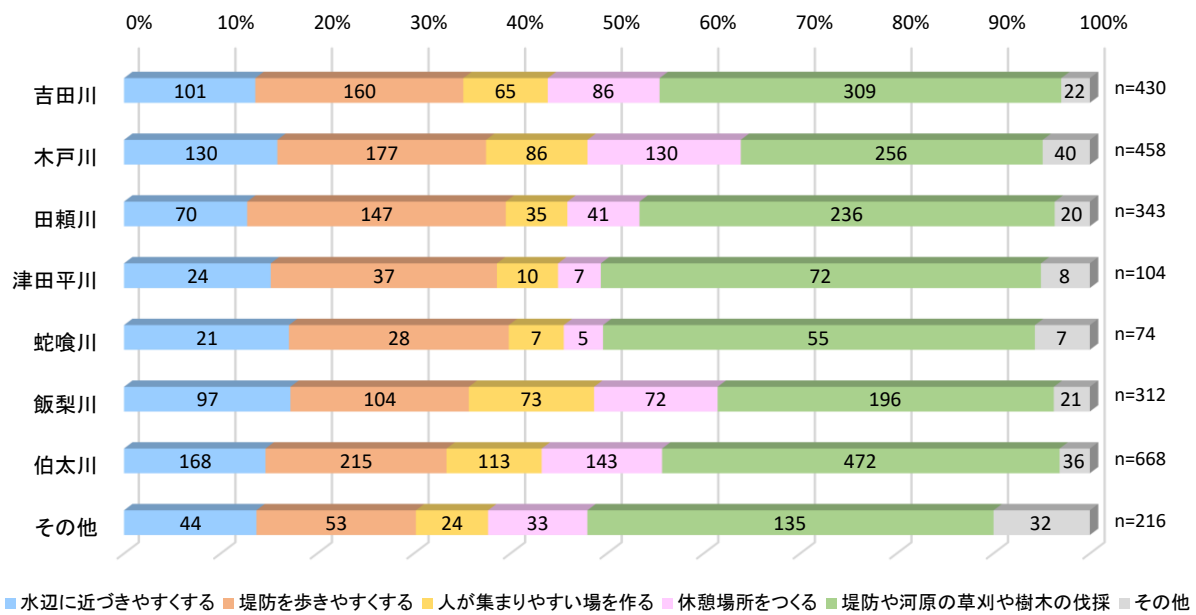
合計回答数：3,737（一人当たり回答数 1.67）

【Q11 その他内訳】

- ・利用しやすくする必要はない
- ・現状で良い
- ・下水整備
- ・トイレの設置
- ・街灯の設置
- ・護岸整備
- ・安全性の確保
- ・イベントの開催
- ・外来種の駆除
- ・生物の保全 など

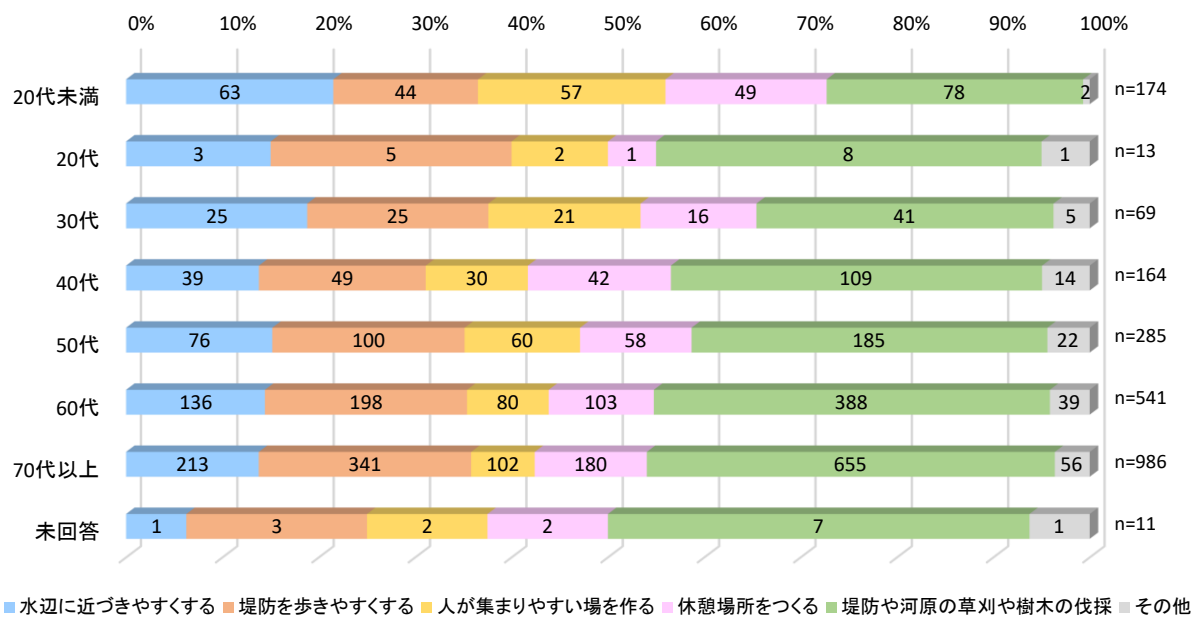


【Q11 河川別】



※母数は河川別の回答者数

【Q11 年齢別】



※母数は年齢別の回答者数

【Q11 回答の傾向】

- 〈全体〉6割以上が「堤防や河原の草刈や樹木の伐採」と回答した。
- 〈河川別〉木戸川は他の河川と比べて「休憩場所をつくる」と回答した割合が高い。
- 〈年齢別〉20代未満は他の年代と比べて場所づくりに関する回答をした割合が高い。

●「防災・減災」

Q12 大雨の際、防災情報をどのように入手されていますか【複数回答可】

【Q12 全体】

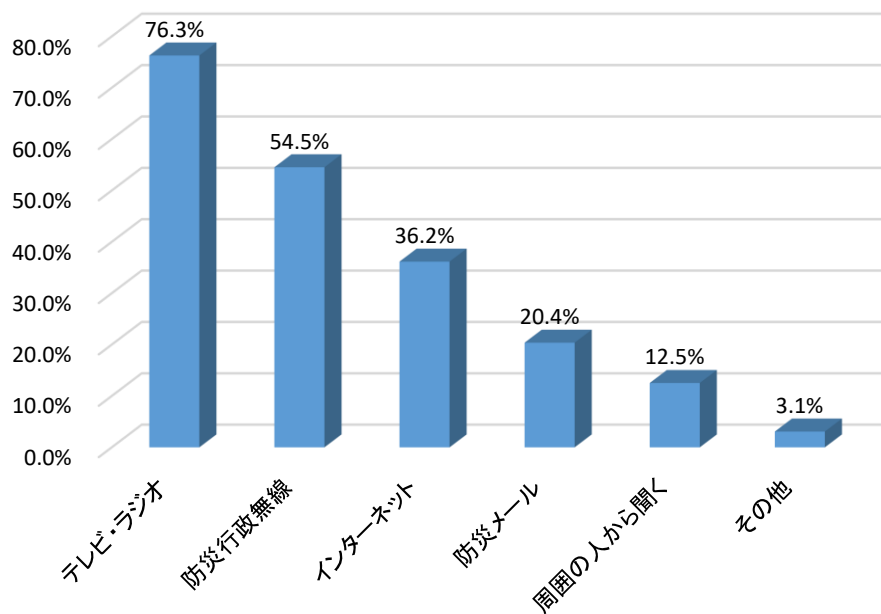
選択肢	回答数（人）
テレビ・ラジオ	1,711
防災行政無線	1,223
インターネット	811
防災メール	457
周囲の人から聞く	281
その他	69
母数	2,243

合計回答数：4,552（一人当たり回答数 2.03）

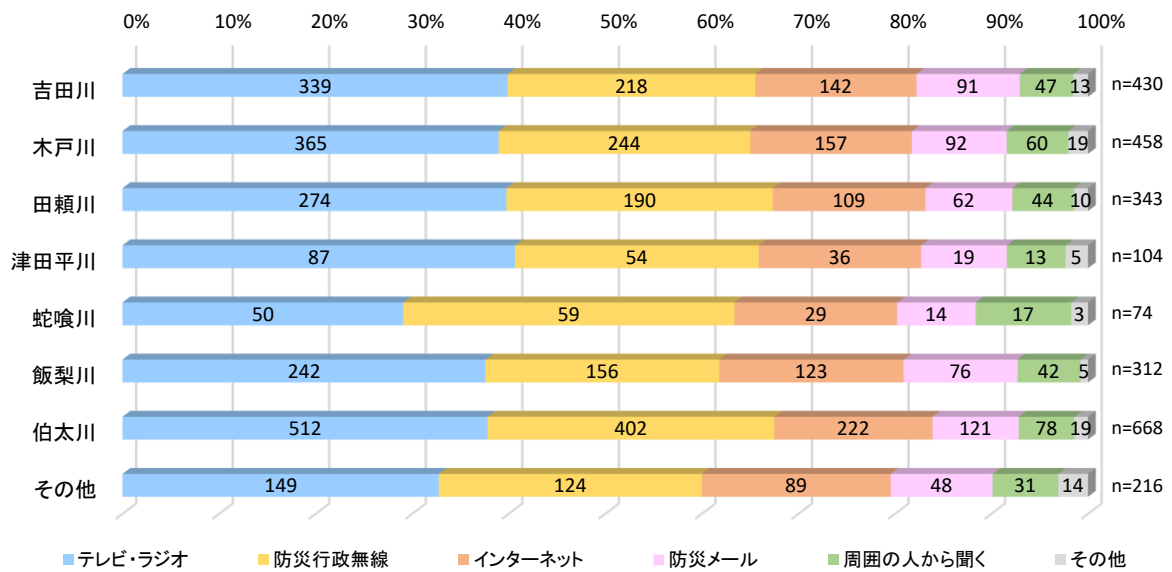
【Q12 その他内訳】

- ・情報が入らない
- ・目視で川を確認
- ・LINE
- ・告知端末放送
- ・市、自治体、町内会からの連絡

など

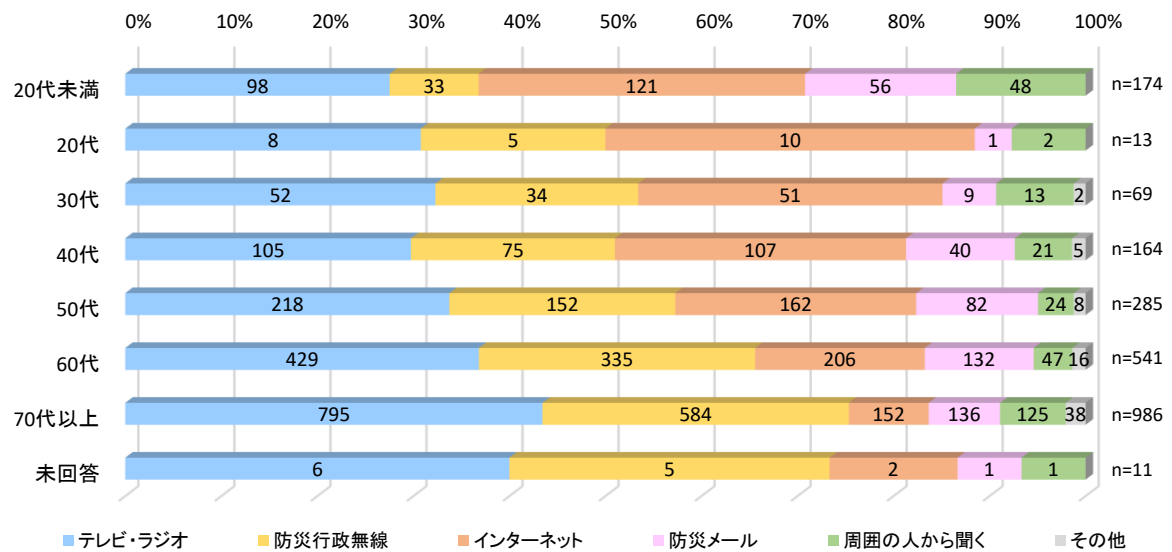


【河川別】



※母数は河川別の回答者数

【年齢別】



※母数は年齢別の回答者数

【回答の傾向】

〈全体〉7割以上が「テレビ・ラジオ」と回答した。

〈河川別〉蛇喰川のみ「テレビ・ラジオ」よりも「防災行政無線」と回答した割合が高い。

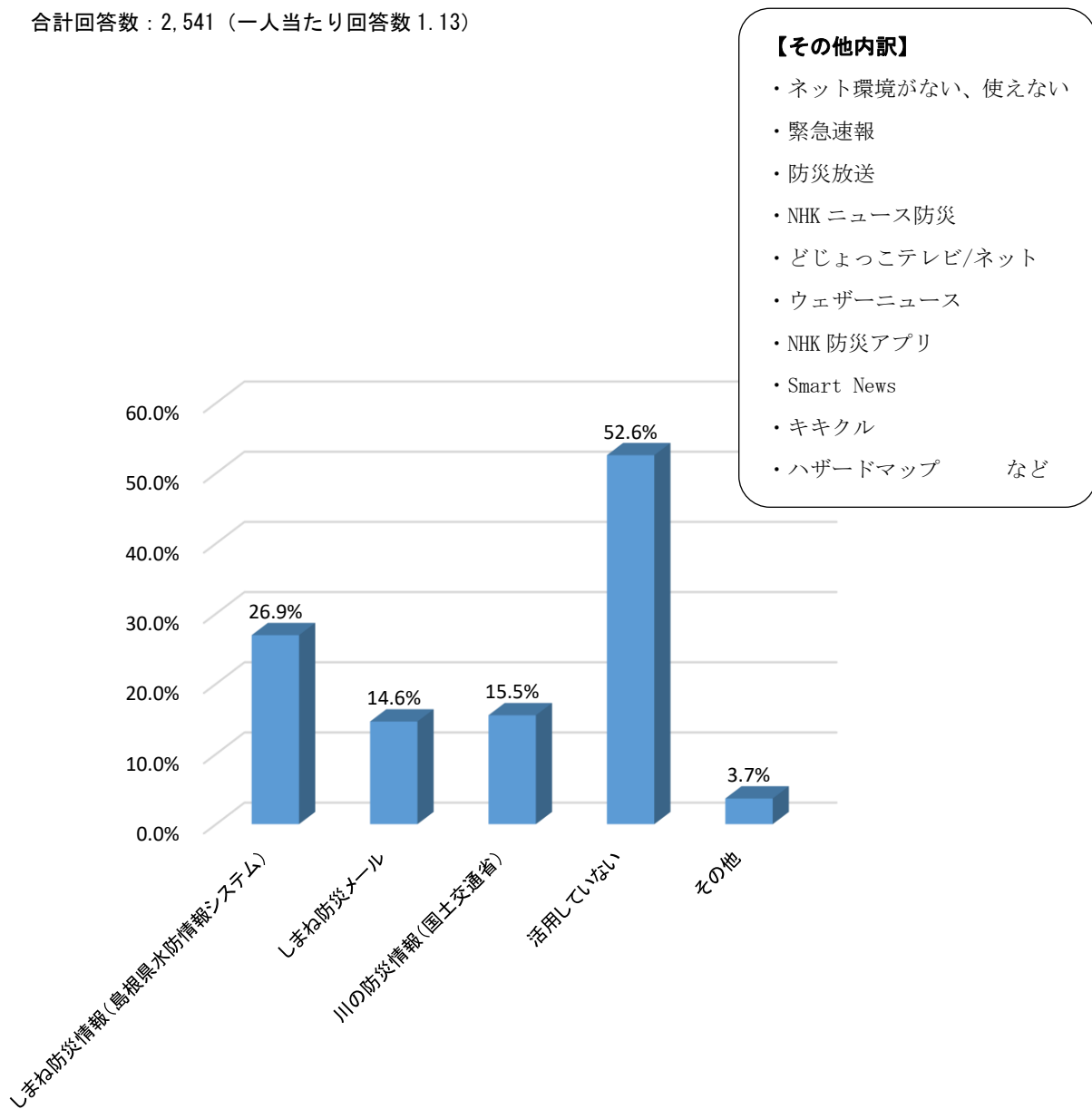
〈年齢別〉年齢が上がるにつれ、「インターネット」と回答する割合が減少し、「テレビ・ラジオ」、「防災行政無線」と回答する割合が高くなる。

Q13 国や県は、リーフレットにあるように、インターネット等で防災情報を提供していますが、その情報を活用していますか【複数回答可】

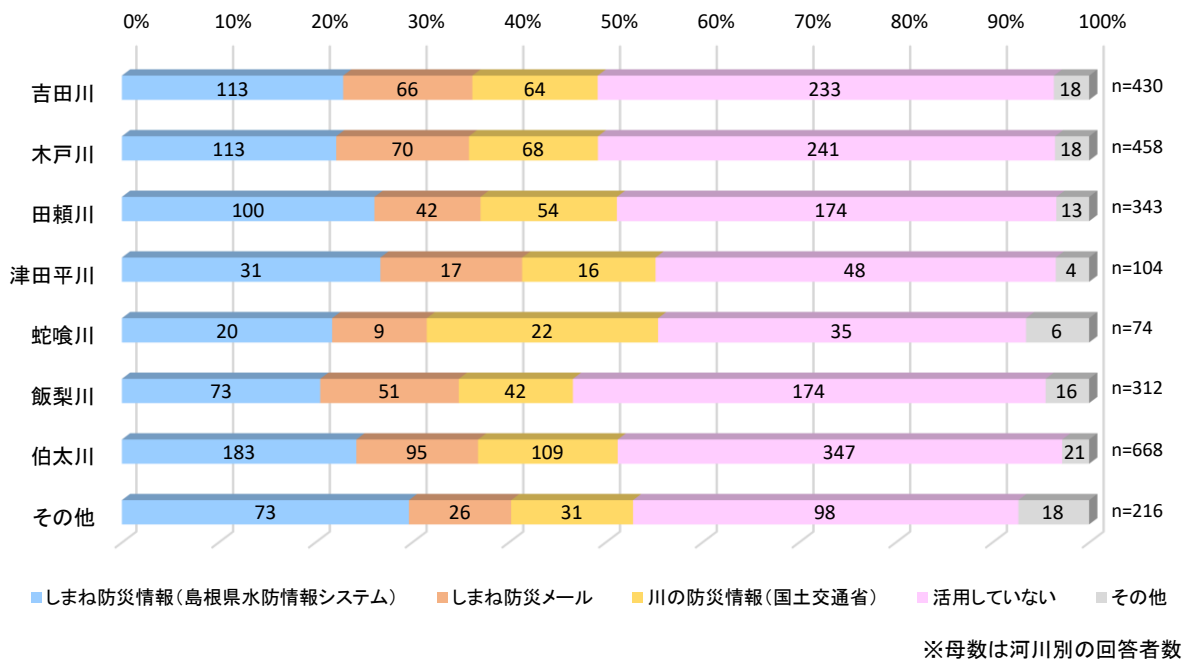
【Q13 全体】

選択肢	回答数（人）
しまね防災情報（島根県水防情報システム）	604
しまね防災メール	328
川の防災情報（国土交通省）	348
活用していない	1,179
その他	82
母数	2,243

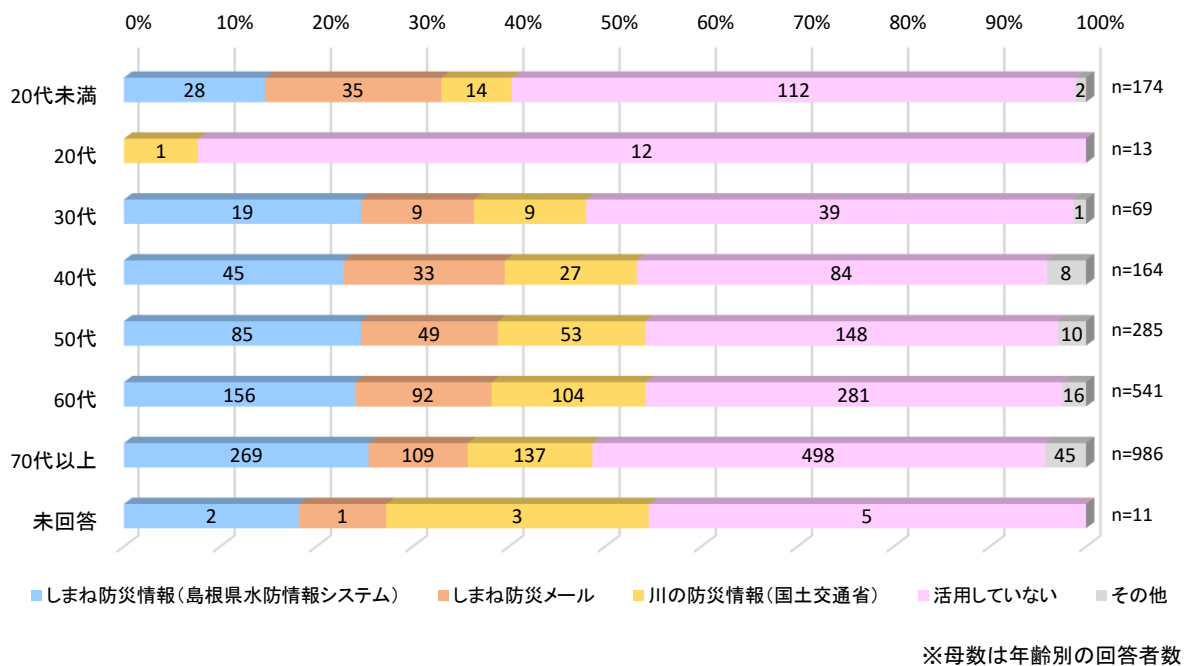
合計回答数：2,541（一人当たり回答数 1.13）



【Q13 河川別】



【Q13 年齢別】



【Q13 回答の傾向】

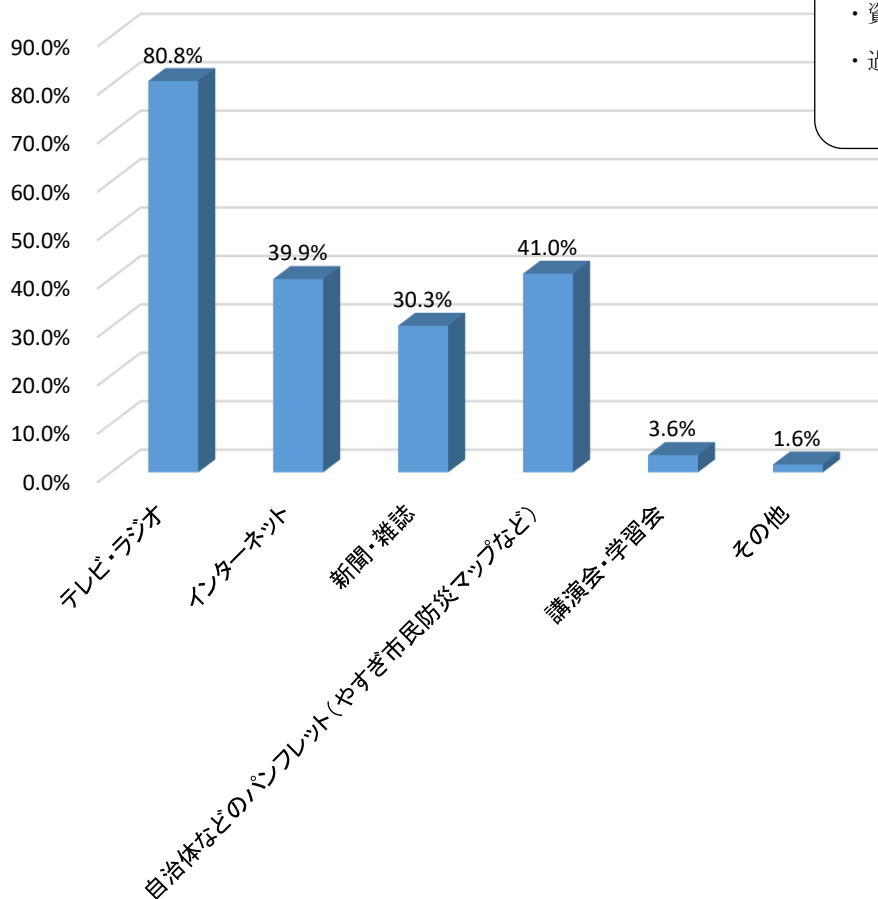
- 〈全体〉「活用していない」という回答が過半数を占める。
- 〈河川別〉弘鶴橋観測所が近くにある蛇喰川は、他の河川と比較して「川の防災情報」と回答した割合が高い。
- 〈年齢別〉20代の情報の活用率が最も低い。

Q14 普段、防災に関する情報や知識をどのように入手していますか【複数回答可】

【全体】

選択肢	回答数（人）
テレビ・ラジオ	1,812
インターネット	895
新聞・雑誌	679
自治体などのパンフレット（やすぎ市民防災マップなど）	920
講演会・学習会	80
その他	36
母数	2,243

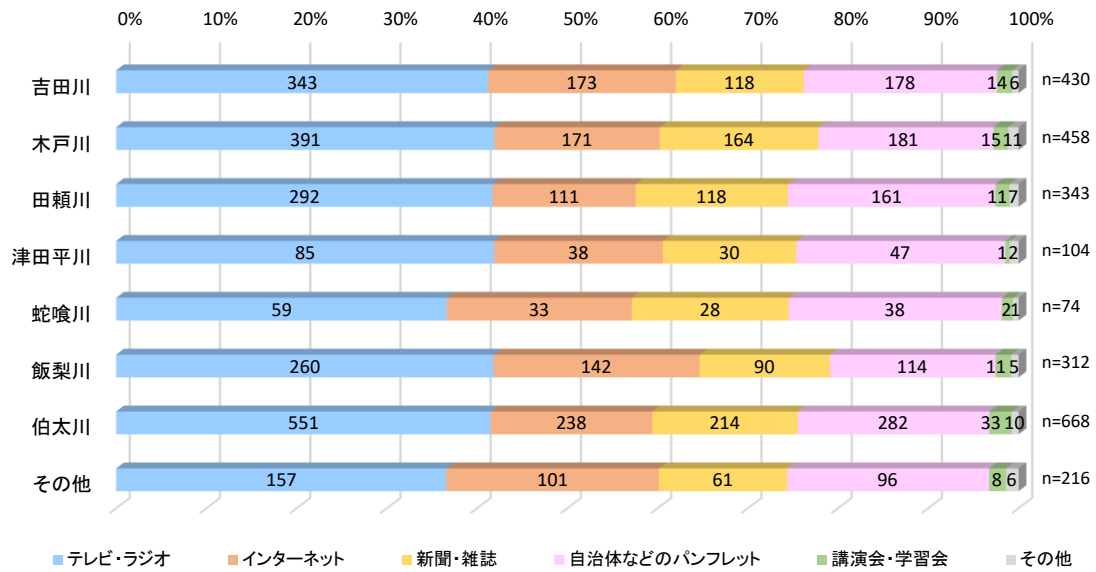
合計回答数：4,422（一人当たり回答数1.97）



【その他内訳】

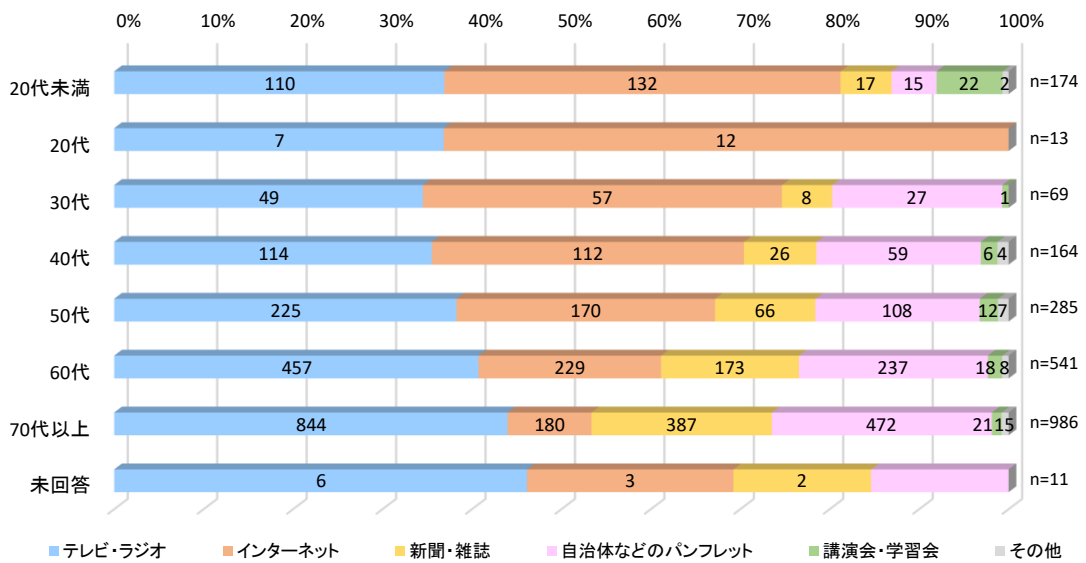
- ・入手していない
- ・行政告知端末
- ・資格取得
- ・過去の経験
- など

【河川別】



※母数は河川別の回答者数

【年齢別】



※母数は年齢別の回答者数

【回答の傾向】

〈全体〉8割以上が「テレビ・ラジオ」と回答した。

〈河川別〉河川ごとに大きな違いは見られない。

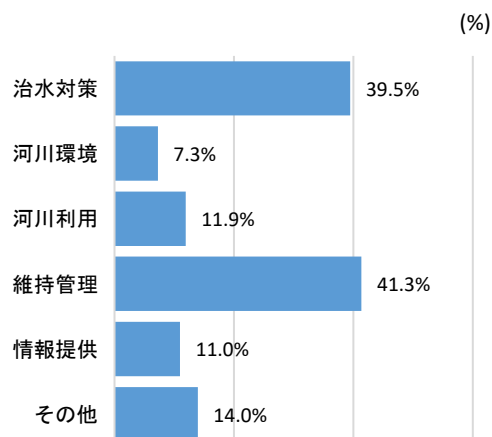
〈年齢別〉30代以下で「インターネット」という回答が最も多い。

「新聞・雑誌」「自治体などのパンフレット」といった紙媒体は高齢世代になるほど割合が高くなる。

●「その他」

Q15 その他、ご意見がございましたらお聞かせください

分類項目	回答数(人)
治水対策	212
河川環境	39
河川利用	64
維持管理	222
情報提供	59
その他	75
母数	537



【治水対策に関する意見】

- ・ 早く改修してほしい／計画を立ててほしい。
(吉田川、木戸川、田頼川、津田平川、蛇喰川、万歳川、久白川、飯梨川、伯太川、卯月川など)

【河川環境】

- ・ 魚、その他の動物が住みやすいような川にしてほしい。
- ・ 外来種（ヌートリア、ハクビシン、カメ）やイノシシの住処になっている。 など

【河川利用】

- ・ ゴミが多い。
- ・ 川遊びができる場がほしい。
- ・ 歩道を整備してほしい。 など

【維持管理】

- ・ 草刈り、伐採を行ってほしい／頻度を上げてほしい。 《多数意見》
- ・ 堆積している土砂を取り除いてほしい。 《多数意見》
- ・ 施設（水門、護岸、堤防）の点検／補修をしてほしい。
- ・ 高齢化が進み、維持管理が困難になった。 など

【情報提供】

- ・ 防災情報の周知を進めてほしい。
- ・ 防災行政無線が聞き取りづらい。
- ・ 大雨時は混雑して、防災情報を提供するサイトにアクセスできない。 など

【その他】

- ・ 地元の意見も吸い上げてほしい。
- ・ 津田平川全域を一級河川にしてほしい。 など

5. アンケート結果まとめ

表 5-1 アンケート結果まとめ

項 目	回答の傾向等
治 水	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な川において、洪水に対して不安を感じたことがある人が約 2/3 を占め、「大雨の時に水があふれる」ことを理由にした人が半数を占めた。 ・多くの河川で洪水・増水対策のための早急な河川改修を望む回答が多い。
河川環境	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の河川環境に対して約半数が「満足」または「概ね満足」としていた。満足している理由として、「自然が豊か」との回答が多い。また、約半数が不満を感じているが、その理由として「堤防や川の中に草や木が生い茂っている」との回答が約 7 割を占めた。 ・身近な川での取り組みとして、「何も取り組んでいない」と回答する割合が約半数を占めた。取り組まれていることで最も多いのは「草刈」で、特に田頼川、津田平川、蛇喰川は他河川と比較して草刈りに取り組んでいる人の割合が高い。
河川利用	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な川を利用していない人が約半数を占めた。利用している人の回答では、「散歩路（堤防等）」としての利用が最も多かった。また、その他として「農業用水」と回答した人が見られた。 ・20 代未満は他の年代と比べて「遊び場（土手・河原・水辺等）」として利用している割合が高く、川を利用しやすくするために必要と思うことについても「場所づくり」に関する回答をした割合が高い。
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な川に対する不満理由として「堤防や川の中に草や木が生い茂っている」と回答する割合は約 7 割、身近な川を利用しやすくするために必要なこととして「堤防や河原の草刈や樹木の伐採」と回答する割合も約 7 割を占めた。また、住民による取り組みとしては「草刈り」「ゴミ拾い」の回答が多く、Q15 自由意見でも草刈りや伐採についての意見が多かった。 ・洪水に対して不安を感じたことがある人の約 3 割は「河川に土が溜まっている」ことを選択しており、Q15 自由意見でも洪水対策として「堆積している土砂を取り除いてほしい」との意見が多数あった。 ・Q15 自由意見では「施設（水門、護岸、堤防）の点検、補修をしてほしい」との意見も寄せられた。
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・豪雨や防災に関する情報の入手について、50 代以上は「テレビ・ラジオ」、「防災行政無線」を利用する人が多く、40 代以下は「インターネット」を利用する人が多い。また、紙媒体を利用する割合は高齢になるほど増加傾向が見られた。 ・国や県がインターネット等で提供している防災情報を活用している人は、半数に満たない。防災情報を活用していない人の中には、インターネットが繋がらない、使い方がわからない人もいるため、対策の必要性が伺われた。